

インテリジエントプリンター *PM-e2*

取扱説明書

目 次

1. はじめに	5
1-1. 製品の特長	5
1-2. システム構成	5
1-3. 付属品	6
1-4. 各部の名称とはたらき	7
2. 取付	9
2-1. 取付場所及び外形寸法	9
2-2. 取付	10
3. 結線	12
3-1. 結線上の注意	12
3-2. 結線	13
4. 計測	17
4. 1 計測までの手順	17
4. 2 固定テープ除去／インクカセットの取り付け	18
4. 3 記録紙の取り付け	19
5. 操作	20
5-1. メニュー画面	20
5-2. アナログ一覧	21
5-3. デジタル一覧	21
5-4. 積算値	22
5-5. 運転時間	22
5-6. 警報履歴	23
5-7. 日報（アナログ）	24
5-8. 日報（デジタル）	24
5-9. 月報（アナログ）	25
5-10. 月報（デジタル）	25
5-11. カレンダー	26
5-12. グラフ一覧	27
5-13. グラフ拡大	27
6. 設定	28
6-1. 設定について	28
6-2. メンテナンスメニュー	28
6-3. 通報先変更	29
6-4. アナログ上下限設定	33
6-5. 時刻設定	34
6-6. スタイル調整	35
6-7. USBメモリー転送	36
6-8. 文字入力	41

7. 運転（モード切替）	42
7-1. 特殊条件下で動作させる	43
7-2. 通報リセットを行う	45
8. 印字	46
8-1. 印字方向	46
8-2. 印字方法	46
8-3. 印字例	47
9. FAX送信	48
9-1. 日報 FAX 送信内容	49
9-2. 月報 FAX 送信内容	54
9-3. 警報 FAX 送信内容	57
9-4. 手動 FAX	59
10. テレコン操作	60
11. 保守	62
11-1. 設定	62
11-2. インクカセットの交換	62
11-3. バックアップ電池の交換	62
11-4. 消耗品について	63
12. 仕様	64
12-1. 型式	64
12-2. 仕様	64
13. 保証とアフターサービス	68

●はしがき／お願いとお断り

このたびは、インテリジェントプリンター PM-e2 をお買い上げいただきましてありがとうございます。本機を正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読み下さい。

●お願い

1. この取扱説明書は、本機をご使用になる方のお手元へ確実にお渡し下さい。
2. この取扱説明書は、保守の際にも必要です。本機を廃棄するまで大切に保管して下さい。

●お断り

1. 本書の記載内容は予告無く変更する場合があります。
2. 本書の内容についてお問い合わせなどございましたら、当社最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

●重要なお知らせ

本書の中には、本機を安全にお使いいただくための注意事項を重要度により分け、次の記号で表しています。



危険 感電など人体に危険が及ぶ恐れがある場合



注意 本機の故障や事故が十分に予測できる場合

なお、注意に記載した事項であっても状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

●安全に対する注意事項

以下の事項は、本機を安全に使用するために重要な内容です。必ず以下の事項を守ってご使用下さいますようお願いいたします。

1. ご使用の前に

本機は厳密な検査の上出荷しておりますが、輸送中に大きな衝撃を受ける等の原因により動作不良が発生する場合があります。ご使用の前に以下の確認をお願いします。

- ・ 外観に傷や変形が無いかを確認してください。
- ・ プリンターカバーがスムーズに開閉出来るかを確認してください。

2. 電源開閉器の使用

電源端子への結線や取り外しの際の感電防止のため、本機に供給する電源系統には電源開閉器を設けて下さい。

3. 確実な接地

感電防止のため、独立したD種以上（接地抵抗 100Ω 以下）の接地を行って下さい。

4. 結線の確認

本機は AC100V 専用です。本機の損傷を防ぐため、供給電源電圧が AC100V であること、及び全ての結線が正しいことを確認してから電源開閉器および本機の電源スイッチを ON にしてください。

5. 分解、改造の禁止

分解や改造は行わないで下さい。本機の内部には電圧の高い部分があり、分解や改造は本機や周辺機器の故障や感電事故等を招く場合があります。

6. 異常に気付いた場合

異臭や煙の発生、あるいは手で触れられないほど高温になっている等、異常に気付かれた場合は、危険ですので電源供給をすぐに停止し、最寄りの当社支店・営業所までご連絡下さい。

7. 通信（LAN 端子）

本機をネットワークに接続して使用する場合、外部からのサイバー攻撃による動作妨害を防ぐため、セキュリティ対策を行って下さい。

例）ファイアウォール機能を有効にしたネットワーク機器（ルータ等）を接続する

1. はじめに

1-1. 製品の特長

このプリンターは中小規模の施設管理を目的とする製品です。豊富な入力点数をもち、プリンター本体で印字記録すると共に、電話回線／ネットワークを経由して管理担当者や保守会社に日報／月報をFAX／メールします。

また、制御盤より異常を受け取った場合は、電話／FAX／メールにより異常の通報を行うことが可能です。

1) 入力点数 (Aタイプの場合)

アナログ 16 点、パルス 4 点、デジタル（運転時間／イベント）64 点。

(Bタイプは、Aタイプの半分の点数です)

2) 通報機能

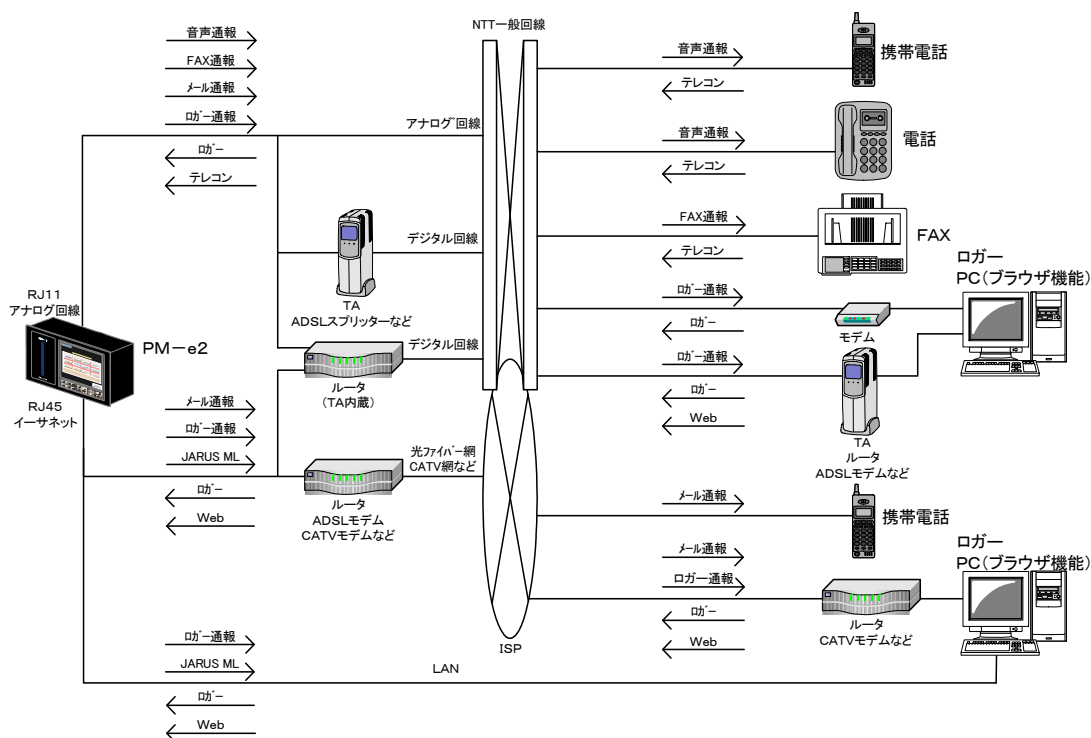
電話／FAX／電子メール／ロガーを対象に最大16箇所に通報可能。

3) 大型カラー液晶画面

8.4 インチ TFT カラー液晶を採用。見やすく、タッチパネルで操作可能。

1-2. システム構成

以下にシステムの概要を示します。



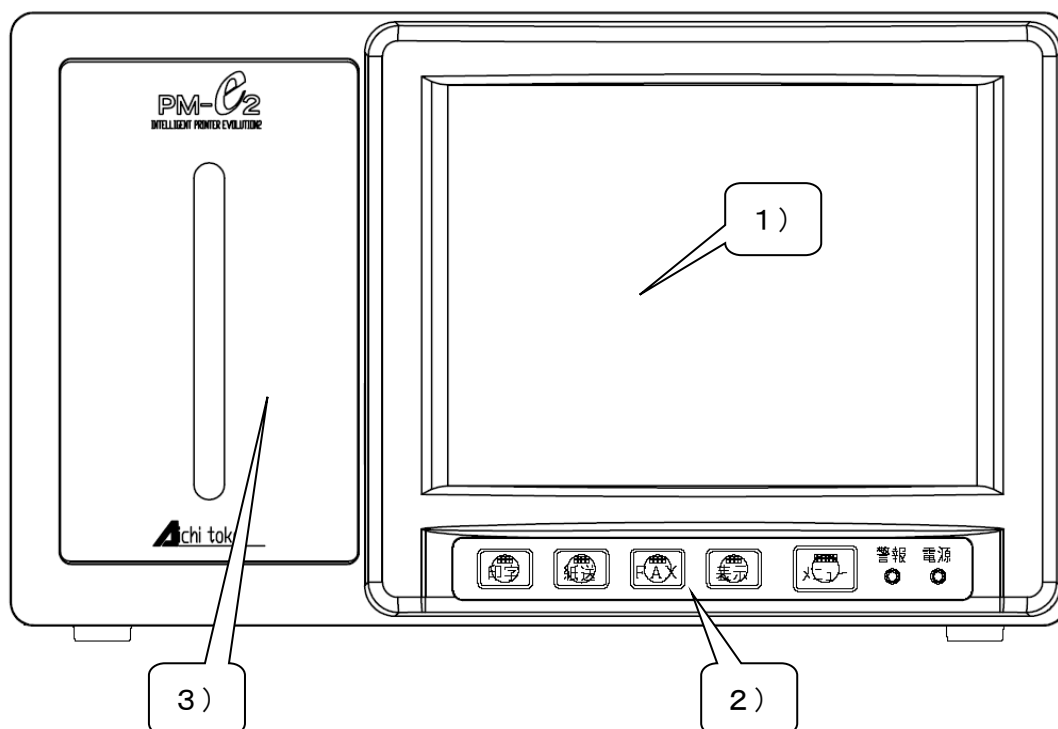
1－3．付属品

開梱後、まず付属品の有無を確認して下さい。確認の上出荷をしておりますが、万一不足がございましたら当社支店／営業所へお知らせ下さい。

・ 予備ヒューズ（7809-849）	1 個
・ 取り付けステー（7809-851）	4 個
・ 端子台カバー（7808-289）	Aタイプ…4 枚 Bタイプ…2 枚
・ 記録紙（折り畳み紙）（7322-004）	3 冊
・ インクカセット（7809-850）	2 個（1 個は本体取付済です）
・ 電話回線用ケーブル（7809-852） （フェライトコア付のもの）	1 式
・ LAN用ケーブル（7809-853） （フェライトコア付のもの）	1 式
・ 取扱説明書（本書） （本書末尾が保証書になっています）	1 冊

1-4. 各部の名称とはたらき

1-4-1. フロントパネル



1) 液晶表示器 (LCD)

計測値や操作ボタンを表示します。画面をタッチして操作が可能です。

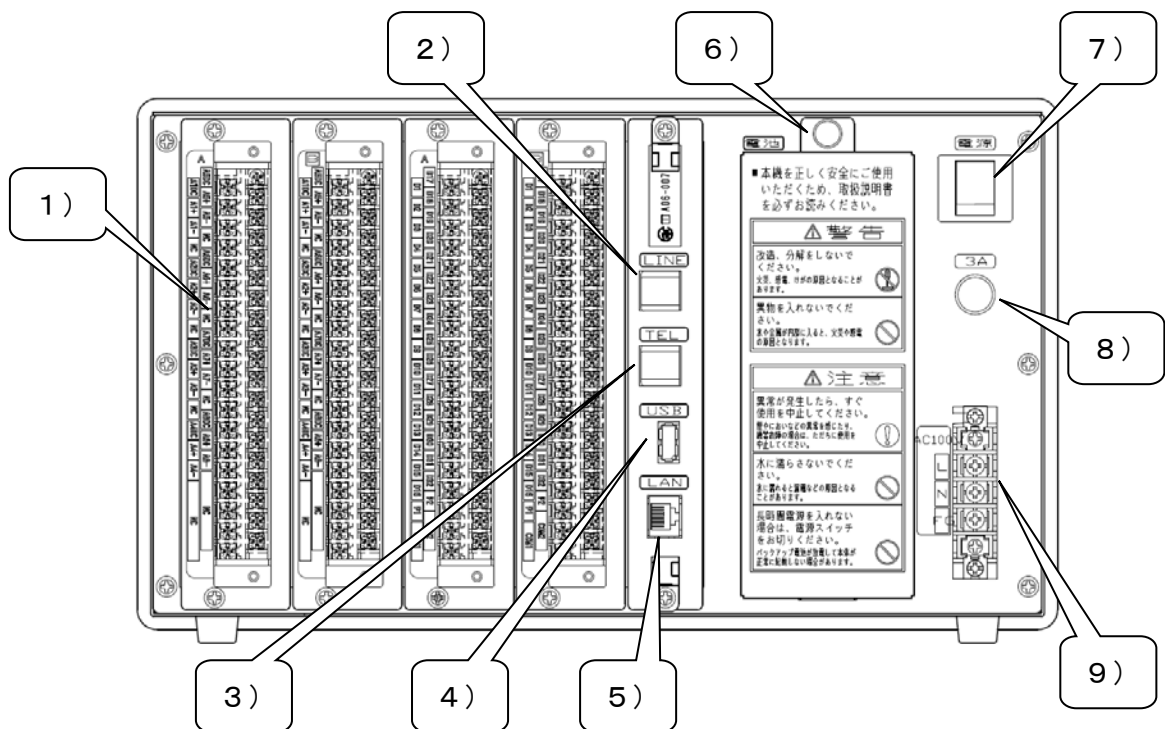
2) 操作スイッチ

印字	手動印字を行います。本日の日報を印字します。
紙送	記録紙の紙送りを行います。
FAX	手動で登録済の宛先に FAX の送信を行います。
表示	表示の ON/OFF を切り替えます。 一定時間操作をしないと自動で画面表示が消えます。 再び画面にタッチするか、表示ボタンを押すと画面が表示されます。
メニュー	操作メニューを表示します。
警報 LED	警報発生時に赤色点灯します。 用紙切れ時に赤色点滅します。
電源 LED	通常動作時に緑色点灯します。 停電発生時には緑色点滅します。

3) プリンターカバー

上部を押すと、上端が前に出ます。カバー上端に指をかけて手前に引くとカバーを開くことが出来、記録紙の交換が行えます。

1-4-2. 裏面パネル



1) 入力端子台

アナログ、デジタル／パルスの各入力端子です。上図は A タイプの場合です。

B タイプの場合は端子台がアナログ 1 個、デジタル 1 個となります。

アナログ入力端子、デジタル／パルス入力端子の準に並んでいます。

2) LINE 端子

アナログ電話回線用のコネクタです。NTT 保安器側の電話線を接続してください。

3) TEL 端子

PM-e2 と同じ電話回線に他の電話機を接続する場合のコネクタです。

4) USB 端子

設定データの読み書き／計測データの読み出し用の USB メモリを接続可能です。

5) LAN 端子

100BASE-TX 規格のネットワーク接続コネクタです。

6) 電池カバー

カバー内部に停電時通報用の 2 次電池が搭載されています。

7) 電源スイッチ

本機の電源 ON/OFF 用スイッチです。

8) ヒューズ

AC100V 電源用ヒューズです。

9) 電源端子台

AC100V 電源及び接地用端子です。

2. 取付

2－1. 取付場所及び外形寸法

2－1－1. 取付場所

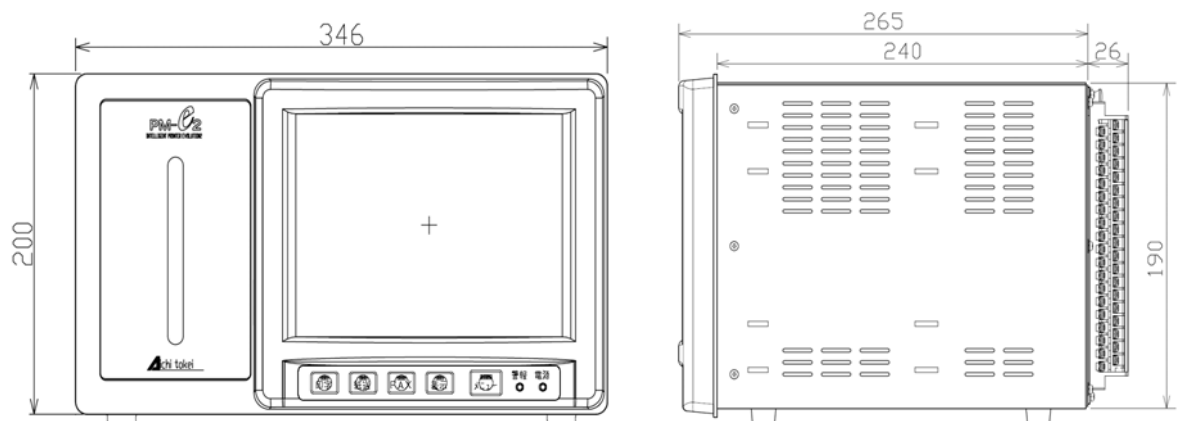
以下の条件にあてはまる場所に設置をして下さい。

- ・ 周囲温度／湿度範囲 0～50℃、30～85%RH（結露しないこと）
- ・ 周囲環境ほか

次のような場所への設置は避けて下さい。

- ・ 埃や湿気、油煙の多い場所
- ・ 腐食性ガスの雰囲気中
- ・ 著しく温度が上昇あるいは低下する場所
- ・ 振動や衝撃のある場所

2－1－2. 外形寸法



2-2. 取付

2-2-1. パネルに取り付ける場合

1) パネルカット寸法

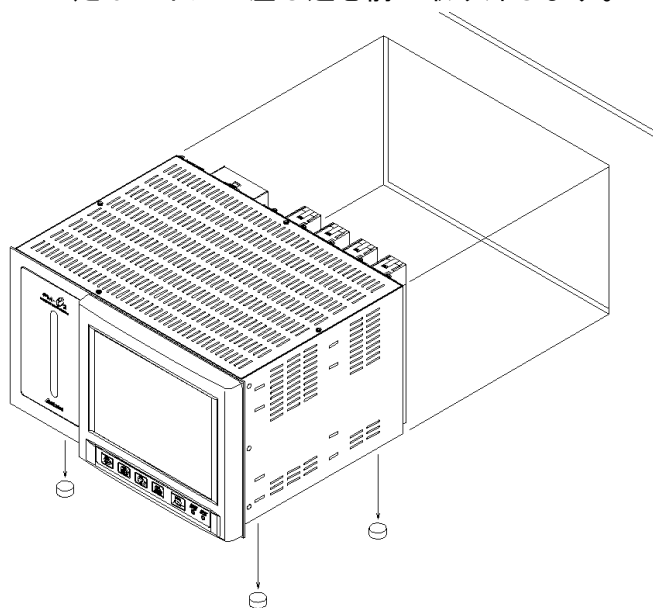
パネルに取り付ける際は、下図の寸法に従ってパネルを加工して下さい。
本機はかなり質量があります（約 11kg）ので、パネルの厚さ／強度を確認の上
取り付けをしてください。



パネルカット寸法にしたがってパネルを加工した後、次の手順で取り付けて下さい。

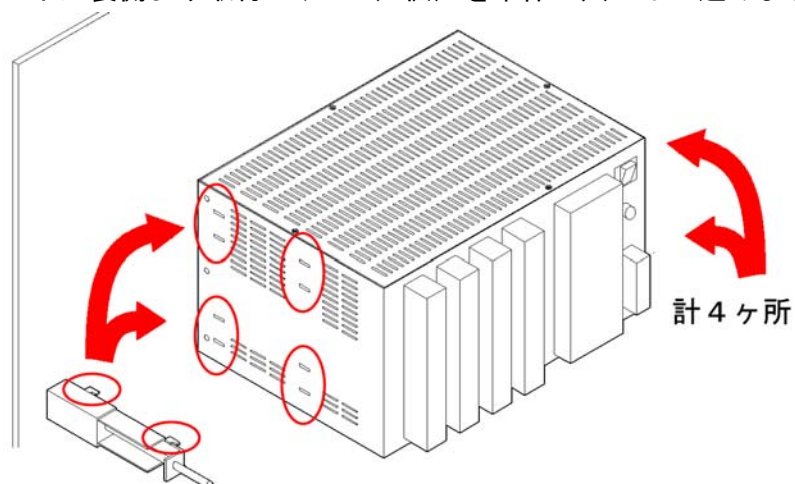
2) 本体挿し込み

パネルのカット穴に本体を差し込みます。
なお、本体下面のゴム足はパネルに差し込む前に取り外します。



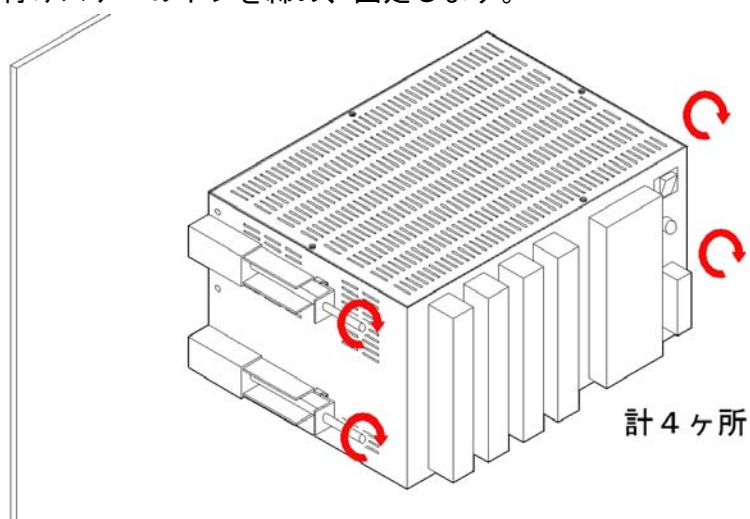
3) ステー取り付け

パネル裏側より取付ステー（4 個）を本体の穴にはめ込みます。



4) 本体固定

取り付けステーのネジを締め、固定します。



2-1-4. 机上に置いて使用する場合

ゴム足が付属していますので、そのままご使用になれます。

3. 結線

3-1. 結線上の注意



- 1) 安全のため、結線やヒューズの交換時は電源開閉器及び本機の電源スイッチは必ず OFF にしておいて下さい。
- 2) 本機の損傷を防ぐため、供給電圧が AC100V であることを事前に確認してから電源端子の結線を行って下さい。
- 3) 配線は人や物に引っかからないよう確実に処置して下さい。
結線が外れたり切断されると感電等の事故が発生する恐れがあります。
- 4) 誤配線があると、本機及び周囲に故障や発火等が発生する恐れがあります。
結線を確認の上電源スイッチを入れて下さい。



- 1) 電源は波形のひずみが無く、電圧の安定したものを使用してください。
また、雷からの保護のため、耐雷トランス、避雷器の設置をお奨めします。
- 2) 信号線は動力線などの強電線と近接または平行配線は行わないで下さい。
また、電動機／インバータ等はノイズ発生源となり故障や誤動作の原因となりますので出来るだけ遠ざけて下さい。
なお、やむを得ず信号線を強電線に近接または平行に配線する必要がある場合は信号線を金属製電線管に入れ、強電線とは 50cm 以上離して配線してください。
- 3) 本機の雷からの保護のため、信号線及び電話回線にも信号線用／回線用避雷器の設置をお奨めします。また、避雷器や接地の状態は定期的に確認してください。
- 4) 端子の緩みや結線外れ、端子間の短絡防止のため、結線には圧着端子を使用して下さい。

端子	ネジ径	端末処理
電源・接地端子	M4	絶縁スリーブ付丸端子
信号入力端子	M3	絶縁スリーブ付丸又は Y 端子
- 5) 未使用端子を使用しないで下さい。
本機の未使用端子を中継用などに使用しないで下さい。故障の原因となります。

3-2. 結線

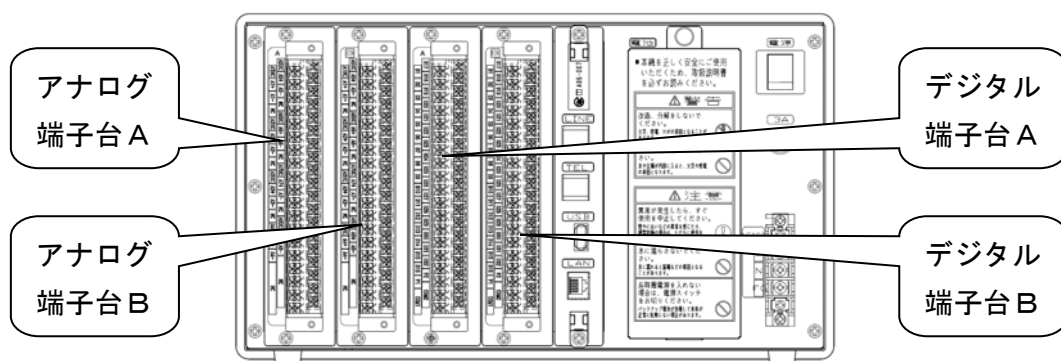
3-2-1. 電源／接地端子の結線

電源／接地線は 600V ビニル絶縁電線（JIS C3307）を使用し、圧着端子を用いて結線してください。

接地側は D 種接地以上（接地抵抗 100 Ω 以下）であることを確認ください。

3-2-2. 端子ブロック

当取扱説明書では端子台の表記の内容について以下のように記載します。



アナログ入力端子台

端子台 A		端子台 B（A タイプのみ実装）	
A-A1DC/A1+/A1-	アナログ入力 1	B-A1DC/A1+/A1-	アナログ入力 9
A-A2DC/A2+/A2-	アナログ入力 2	B-A2DC/A2+/A2-	アナログ入力 10
:	:	:	:
A-A8DC/A8+/A8-	アナログ入力 8	B-A8DC/A8+/A8-	アナログ入力 16
NC	接続しません	NC	接続しません

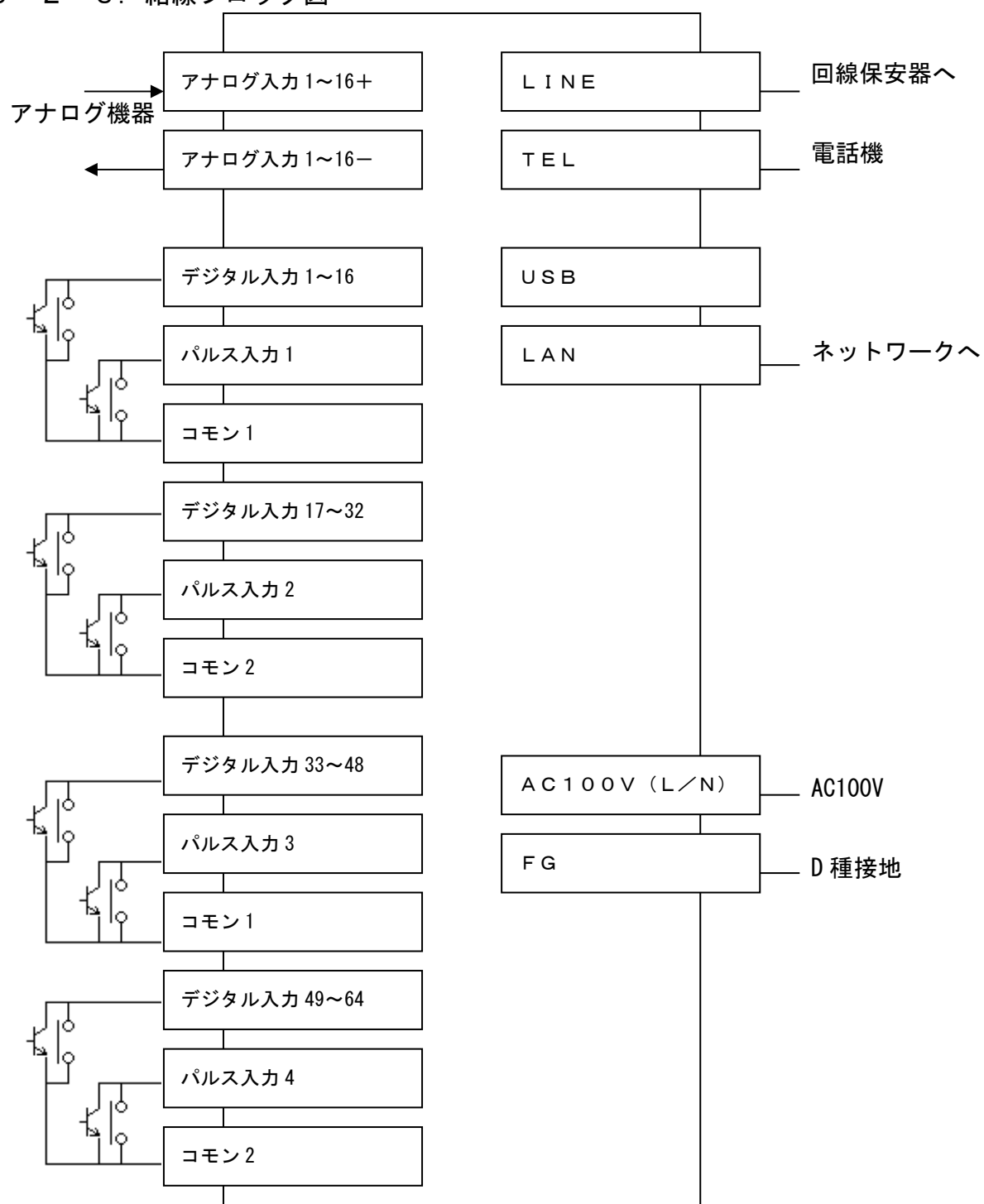
デジタル入力端子台

端子台 A		端子台 B（A タイプのみ実装）	
A-D1	デジタル入力 1	B-D1	デジタル入力 33
:	:	:	:
A-D16	デジタル入力 16	B-D16	デジタル入力 48
A-P1	パルス入力 1	B-P1	パルス入力 3
A-COM1	コモン 1	B-COM1	コモン 1
A-D17	デジタル入力 17	B-D17	デジタル入力 49
:	:	:	:
A-D32	デジタル入力 32	B-D32	デジタル入力 64
A-P2	パルス入力 2	B-P2	パルス入力 4
A-COM2	コモン 2	B-COM2	コモン 2

※ 各デジタル入力のコモン 1, 2 は PM-e2 内部では接続されていません。

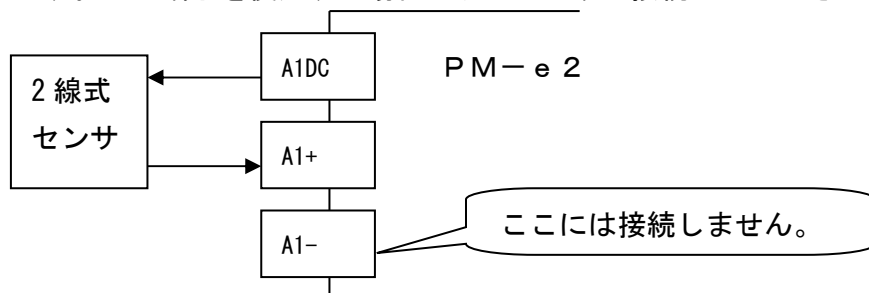
各コモンに必ず結線をしてください。

3-2-3. 結線ブロック図



3-2-4. 2線式センサの接続

PM-e2にはアナログ入力に電磁流量計等の2線式用センサ電源供給用の端子があります。この端子を使用する場合は以下のように接続してください。



3-2-5. 負荷量演算の結線について

COD／全リン(TP)／全窒素(TN)と流量から負荷量を演算する場合は、以下の入力端子に各センサを接続してください。下記以外の接続では負荷量の演算は行えません。
※ TP/TNの負荷量演算機能はオプションです。

	Aタイプ		Bタイプ	
	流量	COD/TP/TN 入力	流量	COD/TP/TN 入力
COD負荷量	アナログ入力 15	アナログ入力 16	アナログ入力 7	アナログ入力 8
全リン負荷量	または	アナログ入力 13	または	アナログ入力 5
全窒素負荷量	パルス入力 4	アナログ入力 14	パルス入力 2	アナログ入力 6

3-2-6. フェライトコア付きケーブルについて

本製品に付属されている、フェライトコア付きケーブル（電話回線用ケーブル、LAN用ケーブル）は電話・LAN使用時に必ず、以下の様に取り付けて下さい



左：フェライトコア付き電話回線用ケーブル
右：フェライトコア付きLAN用ケーブル



上：電話回線用フェライトコア付きケーブル取付場所
下：LAN用フェライトコア付きケーブル取付場所

拡大図



結束バンドを使用して

下図の様なイメージで、フェライトコアを固定して下さい。

(必ず使用する回線・LANにはフェライトコア付きケーブルを取り付けて下さい)



電話回線用ケーブルの取付イメージ



上：電話回線用
下：LAN用

4. 計測

4. 1 計測までの手順

以下の手順で計測を開始します。

1) 外部電源の投入

本体電源スイッチが OFF であることを確認の上、外部の電源（電源開閉器等）を ON にしてください。

2) 本体電源投入

本体背面の電源スイッチを ON にしてください。

3) 設定

時計等の設定を行って下さい。

（詳細な設定については当社サービスまでお問い合わせ下さい）

4) 記録紙の取り付け

記録紙、インクカセットを取り付けてください。

5) 計測開始



1) 計測時の異常

異臭や煙の発生、あるいは手で触れられないほど高温になっている等、異常に気付かれた場合は、危険ですので電源供給をすぐに停止し、最寄りの当社支店・営業所までご連絡下さい。

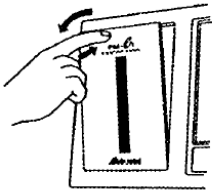
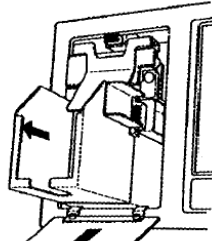
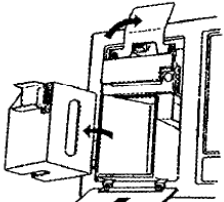
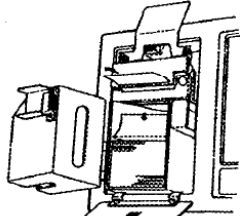
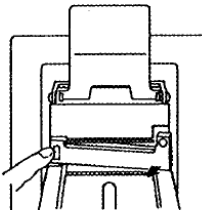
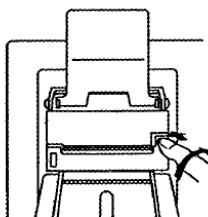
2) 濡れた手での使用禁止

濡れた手で操作をしないで下さい。感電や本機の損傷につながります。

4. 2 固定テープ除去／インクカセットの取り付け

当社出荷時には、プリンター部分はテープで固定されています。
ご使用前に必ずテープを剥がして下さい。

また通常、弊社出荷時にインクカセットは取付済ですが、もし外れていた場合は、以下の手順でインクカセットを取り付けてください。

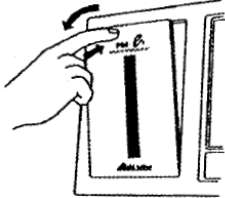
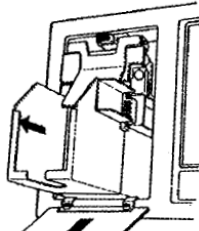
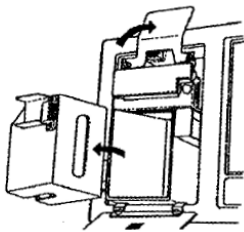
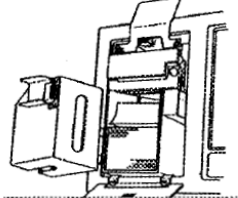
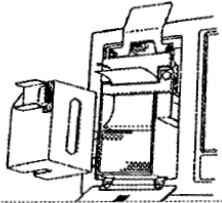
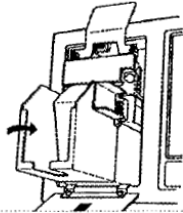
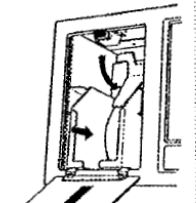
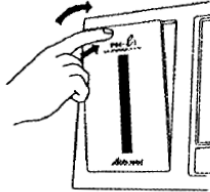
<p>1. プリンターカバーの上部を軽く押すと、カバーが少し手前に出てきます。カバー上端に指をかけ、カバーをつかんだまま手前にゆっくり倒します。</p> 	<p>2. スライド機構の左側をつかみ、ストッパーに当たるまで手前に引き出します。</p> 
<p>3. ペーパーガイドを上げてください。可動受皿を左に約90度回転させます。</p> 	<p>4. 記録紙収納スペースに入っている記録紙の最上部のミシン目を切り離します。次に「紙送」キーを押し、プリンターメカニズムに入っている記録紙を除きます。</p> 
<p>5. 図のように左端のPUSHボタンを押して、インクカセットを手前に取り外します。</p> 	<p>6. 新しいインクカセットを取り付ける場合、図の部分に指を押しつけて矢印の方向に回し、リボンのたるみをなくしておきます。次にインクカセットを左端から差し込み、矢印の方向に回しながら、カチッと音がするまで、右端を押し込みます。</p> 

△ 注意

インクリボンは印字が薄くなった場合に交換をお願いします。また印字が濃くても、インクリボンの布地が割けていると故障の原因となりますので、その状態を発見された場合は速やかに交換をお願いします。

4. 3 記録紙の取り付け

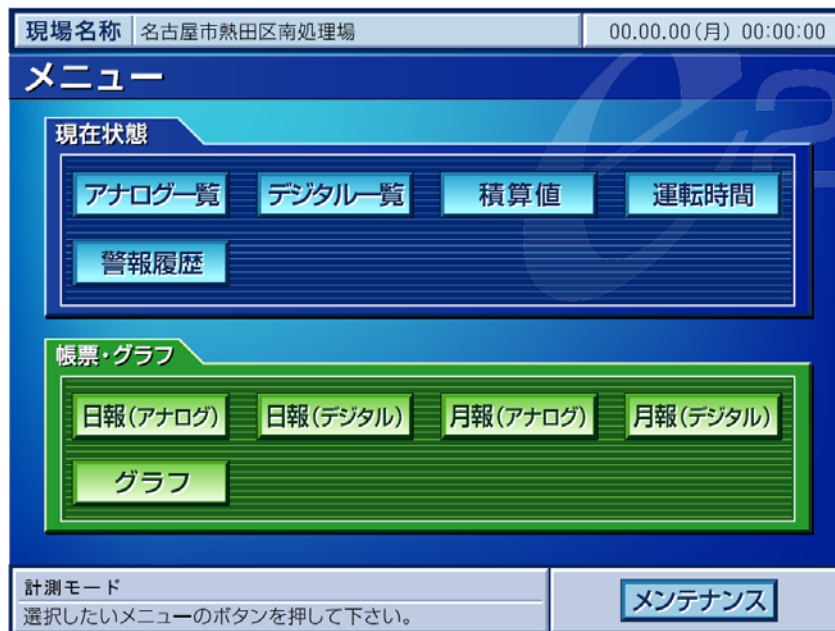
以下の手順で記録紙を取り付けしてください。

<p>1. プリンターカバーの上部を軽く押すと、カバーが少し手前に出てきます。カバー上端に指をかけ、カバーをつかんだまま手前にゆっくり倒します。</p> 	<p>2. スライド機構の左側をつかみ、ストッパーに当たるまで手前に引き出します。</p> 
<p>3. ペーパーガイドを上げてください。可動受皿を左に約90度回転させます。</p> 	<p>4. 記録紙を「記録紙収納スペース」にセットし、記録紙の始端をプリンターメカニズムの用紙挿入口に下から上へ差し込みます。</p> 
<p>5. そのまま、操作スイッチの「紙送」キーを押し続け、用紙出口から2～3折り分の記録紙を出しておきます。</p> 	<p>6. 可動受皿をラッチで固定されるまで右に回転させ、閉じます。</p> 
<p>7. 折りぐせにしたがって2～3折りの記録紙を可動受皿にたたみ、ペーパーガイドを下げます。次にスライド機構をラッチで固定されるまで、本体内に押し込み、収納します。</p> 	<p>8. プリンターカバーを上を持ち上げ、カバー上部を軽く押して閉じます。</p> 

5. 操作

5-1. メニュー画面

計測を開始すると以下の画面が表示されます。

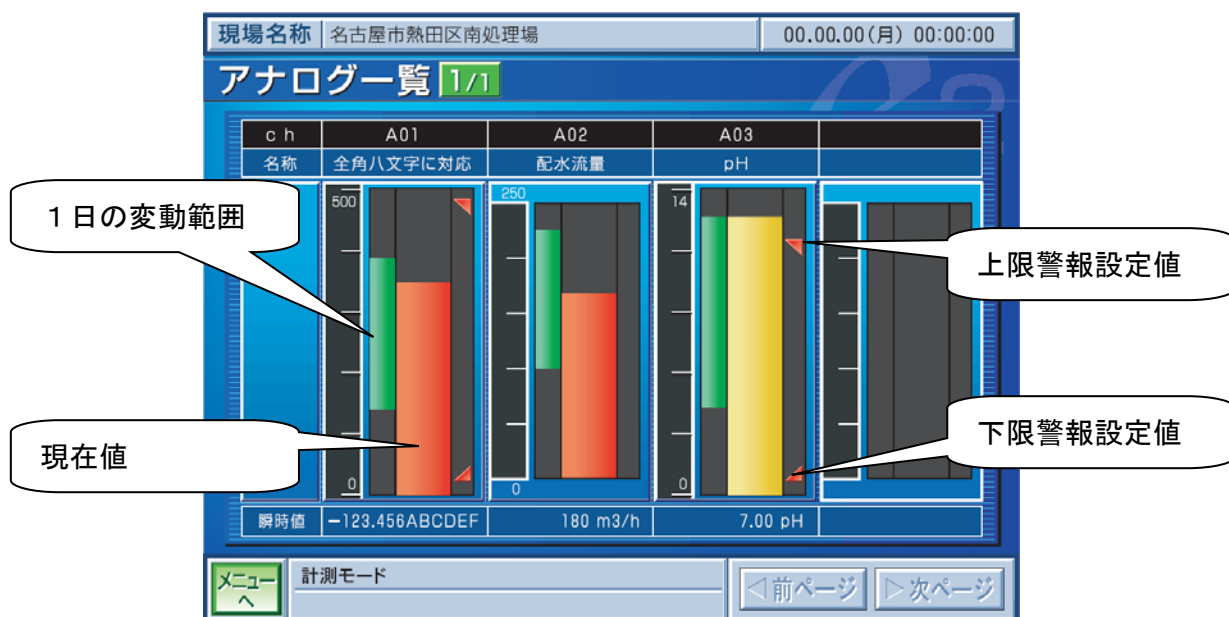


電源を投入後はこの画面が表示されます。

画面の各部分がボタンになっており、タッチをすると各画面へ移ります。

どの画面からでも本体下部の「メニュー」ボタンを押すと、この画面になります。

5-2. アナログ一覧



アナログ入力 of 現在値を表示します。

- | | |
|-------|---------------------------------|
| メニューへ | メニュー画面へ戻ります。 |
| 前ページ | 入力点数の関係で1画面で表示できない場合、画面を切り替えます。 |
| 次ページ | 入力点数の関係で1画面で表示できない場合、画面を切り替えます。 |

5-3. デジタル一覧

現場名称 名古屋市熱田区南処理場		00.00.00 (月) 00:00:00
デジタル一覧 1 / 1		
c h	名称	状態
D01	自動粗目SC	正常
D02	破砕機	停止
D03	原水P-1	運転
D04	原水P-2	停止
D05	粗目SC	停止
D06	破砕機	正常
D07	原水P-1	運転
D08	原水P-2	運転
D09	P-3	運転
D10	源水P満水	故障
D11	攪拌P一括	運転
D12	調整P一括	運転
D13	P-3	運転
D14	P-3	停止
D15	原水P満水	正常
D16	原水P満水	正常

メニューへ 計測モード 前ページ 次ページ

デジタル入力の現在の ON/OFF 状況を表示します。

運転に設定されている入力 is 運転／停止、イベントに設定されている入力 is (警報の状態名：故障など)／正常と表示されます。

5-6. 警報履歷

現場名称 名古屋市熱田区南処理場

00.00.00 (月) 00:00:00

警報履歴

名称	状態	発生日時	発生通報	復帰日時	復帰通報
全角八文字に対応	三文字	00/00/00 00:00:00	通報中	00/00/00 00:00:00	通報中
ポンプ所停電	故障	05/04/05 13:10:24	失敗	05/04/05 14:10:24	失敗
ポンプ所停電	故障	05/04/04 11:45:05	なし	--/--/-- --:--:--	----
ポンプ所停電	故障	05/04/03 15:40:50	成功	05/04/03 15:45:10	成功

計測モード

デジタル入力のうち、イベントに設定された入力の異常発生日時と復旧日時、及び通報の成功／失敗状況を表示します。

5-7. 日報（アナログ）

現場名称 名古屋市熱田区南処理場 00.00.00 (月) 00:00:00

日報（アナログ） 1/1

2000年 00月00日 (月) カレンダー

時刻	全角文字 (123456)	流量調整槽 水位 (m)	第2室 ORP (mV)	放流流量 (m3)	雨 (mm)
0	*-12345678.9	0.00	0.0	0.0	
1	28.0	4.30	35.0	27.0	
2	----	----	----	----	
3	----	----	----	----	
4	----	----	----	----	
5	----	----	----	----	
6	----	----	----	----	
7	----	----	----	----	
8	----	----	----	----	
9	----	----	----	----	
10	----	----	----	----	

メニュー 計測モード 前ページ 次ページ

表示したい日付を指定
できます。

日報帳票の形式でアナログ入力の内容を表示します。

「カレンダー」を押すと、見たい日報の日付を指定できます。

※ 本体下部のボタンを押すことで、以下の動作が行えます。

印字ボタン 現在表示している日付の日報を印字します。

FAXボタン 現在表示している日付の日報をFAXへ送信します。

5-8. 日報（デジタル）

現場名称 名古屋市熱田区南処理場 00.00.00 (月) 00:00:00

日報（デジタル）

2000年 00月00日 (月) カレンダー

c h	名 称	運転時間／イベント回数			
		日合計	日回数	総 計	総回数
D01	ブロウ 1	123 時間 50 分	12345678 回	12345 時間	12345678 回
D02	原水P 2	10 時間 50 分	15 回	6540 時間	15 回
D03	ポンプ故障	----	15 回	----	15 回

メニュー 計測モード

日報帳票の形式でデジタル入力の内容を表示します。

「カレンダー」を押すと、見たい日報の日付を指定できます。

本体下部ボタンの動作は日報（アナログ）と同様です。

５－９．月報（アナログ）

現場名称 名古屋市熱田区南処理場		00.00.00(月) 00:00:00			
月報(アナログ) 4/4					
2000年 00月		カレンダー			
日	全角文字 (123456)	流量調整槽 水位 (m)	第2室 ORP (mV)	放流流量 (m3)	雨 量 (mm)
26	*-12345678.9	0.00	0.0	0.0	0
27	28.0	4.30	35.0	27.0	3
28	65.0	4.10	11.0	21.0	3
29	76.3	2.00	3.0	8.0	0
30	21.8	1.65	2.0	3.2	0
31	43.6	2.34	23.0	5.5	6
月平均	-6172825.4	3.15	39.0	18.9	3
月最大	28.0	5.22	105.0	55.6	9
月最小	-12345678.9	0.00	0.0	0.0	0
月合計	----	----	----	511.0	91
総 計	----	----	----	1198.0	285

メニュー 計測モード 前ページ 次ページ

月報帳票の形式でアナログ入力の内容を表示します。

「カレンダー」を押すと、見たい月報の月を指定できます。

※ 本体下部のボタンを押すことで、以下の動作が行えます。

印字ボタン 現在表示している日付の月報を印字します。

F A X ボタン 現在表示している日付の月報を FAX へ送信します。

５－１０．月報（デジタル）

現場名称 名古屋市熱田区南処理場		00.00.00(月) 00:00:00			
月報(デジタル)					
2000年 00月		カレンダー			
c h	名 称	運転時間／イベント回数			
		月合計	月回数	総 計	総回数
D01	ブロウ 1	123 時間 50 分	12345678 回	12345 時間	12345678 回
D02	ポンプ 1	10 時間 50 分	15 回	6540 時間	15 回
D03	イベント	----	15 回	----	15 回

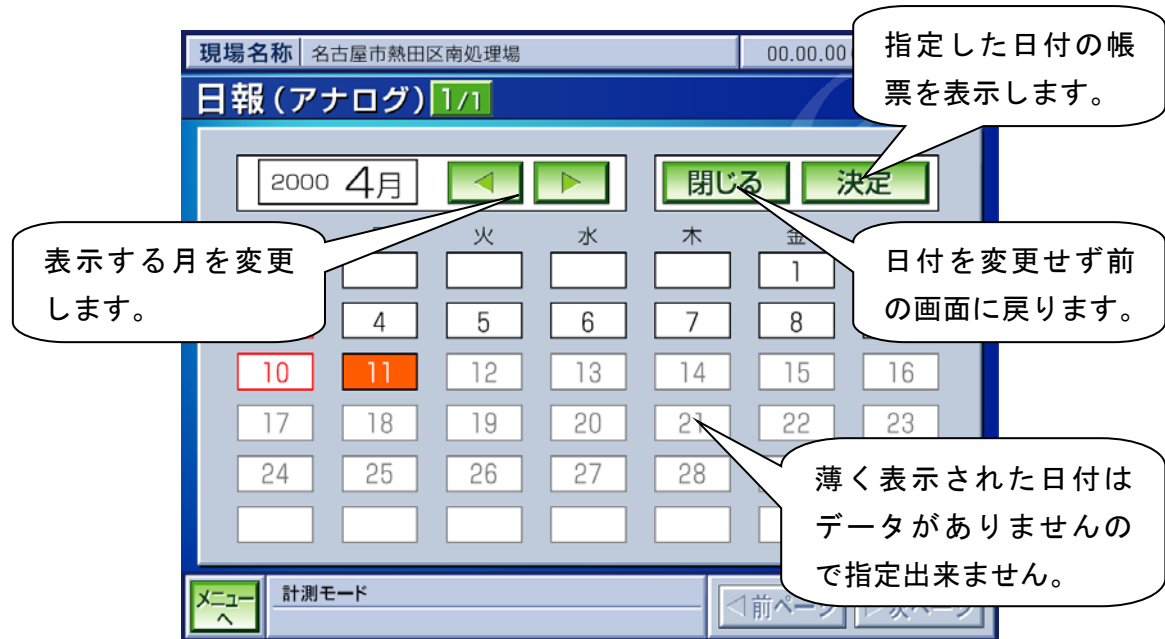
メニュー 計測モード

月報帳票の形式でデジタル入力の内容を表示します。

「カレンダー」を押すと、見たい月報の月を指定できます。

本体下部ボタンの動作は月報（アナログ）と同様です。

5-11. カレンダー



日報／月報の各画面上で「カレンダー」を押すと表示されます。

見たい日付を指定し「決定」を押すと、指定した日付の帳票が表示されます。

5-12. グラフ一覧



1日の計測値の変動をグラフとして表示します。
縮小画面を一度に4つ表示します。見たいグラフを2回連続でタッチすると拡大したグラフが表示されます。

5-13. グラフ拡大



1画面にグラフを表示します。

画面右下の「s=1/1」を押すと、2, 3, 4, 5 倍のスケールにして表示できます。

6. 設定

6-1. 設定について

本機は設定項目が多いため、設備立ち上げ時の調整／設定については当社メンテナンスにご指示ください。

以下、運用開始後の軽微な設定変更について説明します。

6-2. メンテナンスメニュー

現場名称		00.00.00(日) 00:00:00
		計測モード復帰まで 01:59:50
メンテナンスメニュー		
通 報 先 変 更		アナログ上下限警報判定値
時 刻 調 整		ス タ イ ラ ス 調 整
USBメモリー転送		
計測モードへ	メンテナンスモード (ステータス表示)	

メニュー画面右下の「メンテナンス」を押す则この画面になります。

画面にタッチしない時間が2時間続くと、自動的に計測モードのメニュー画面にもどります。

この画面から、以下の設定変更が行えます。

通報先変更	通報先の電話番号変更が行えます。
アナログ上下限警報判定値	アナログ入力 of 上下限警報の値が変更できます。
時刻調整	本機の日付／時刻を調整できます。
スタイラス調整	本機のタッチパネルのタッチ位置調整を行います。
USBメモリー転送	設定・履歴・計測データをUSBメモリーに転送します。

6-3. 通報先変更

現場名称

05-02-05(日) 10:00:00

通報先変更

各通報先 No. の[名称]・[通報先]・[機器名称]・[通報設定]の設定項目部分を押すと個別の設定項目が表示される。

各通報先 No. の[通報先グループ]の設定項目部分を押すと、通報グループ設定が表示される。

No.	名 称	通 報 先	機器名称	通報設定	通報先グループ
1	愛知時計1	0526615151	音声	全日	1
2	愛知時計2	0526615251	FAX	休日夜間	2
3	愛知時計3	mail@aichitokei.co.jp	メール	平日昼間	3
4			音声	全日	4
5			音声	全日	5
6					6
7					7
8	愛知時計				3

メニューへ

メンテナンスモード

(ステータス表示)

確定

前

次

通報先変更を指定すると表示されます。

ここから変更したい通報先をタッチすると個別の設定画面を表示します。

- 29 -

6-3-1. 通報先設定

現場名称

00. 00. 00(日) 00:00:00

計測モード復帰まで 01:59:50

通報先設定

通報先No. 11

名称 愛知時計電機株式会社

通報先 電話番号 / F A X 番号 / メールアドレスを設定

052-661-5151

機器名称 音声 通報設定 全日通報

通報完了判定方法 正常送信判定時

メール通報フォーマット PC用 添付ファイル なし

メンテナンスモード (ステータス表示)

完了 前

変更内容確認へ

全日通報 / 平日昼間通報 / 休日夜間通報

設定は変更せず前の画面に戻る

以下の項目が設定可能です。

	内 容
名称	通報先の名称を入力します。
通報先	電話番号 / FAX 番号 / メールアドレスを入力します。
機器名称	音声 (電話) / FAX / メール / ロガー / JARUS-ML から選択
通報設定	全日通報 / 平日昼間通報 / 休日夜間通報から選択
通報完了判定	回線接続時 … 電話が繋がったら通報完了と判断します。 正常送信判定時 … 通報音声確認後、「*#」を入力すると通報完了と判断します。
メール通報	PC 用と携帯用のメールの内容が選択出来ます。 (携帯用は文字数が少なくなっています)
添付ファイル	メール通報 (PC 用) 選択時に、添付ファイルとして通報する FAX 内容をグラフィックデータとして添付できます。

⚠ 注意

通報先の設定を変更した場合は、通報のテストを行って設定が正しいことを必ず確認してください。

6-3-2. 通報先グループ設定

現場名称

00. 00. 00 (日) 00:00:00

計測モード復帰まで 01:59:50

通報先グループ変更

通報先No. 1

通報先グループ

NO. 1 NO. 2 NO. 3 NO. 4 NO. 5 NO. 6 NO. 7 NO. 8
NO. 9 NO.10 NO.11 NO.12 NO.13 NO.14 NO.15

選択されている状態

設定は変更せず、前の画面へ

メンテナンスモード (ステータス表示)

変更内容確認へ

完了

前

通報先のグループ設定を行います。

(表示している通報先をどこのグループにするかの設定画面です。1つの通報先は、1つのグループしか設定できませんので、注意して下さい)

同一グループに複数の通報先が設定されている場合、そのグループ内のどれか1ヶ所へ通報が成功すると、「グループへの通報が完了した」と判断しますので同一グループの残りの通報先には通報しません。

必ず通報させたい通報先は同一グループに他の通報先が設定されていないことを確認してください。

6-3-4. 通報先変更確認

現場名称		00. 00. 00(日) 00:00:00
計測モード復帰まで		01:59:50

通報先変更確認

変更前

No.	名 称	通 報 先	機器名称	通信設定	通報先グループ
1	愛知時計1	052-661-5151	音声	全日	1

変更後

No.	名 称	通 報 先	機器名称	通信設定	通報先グループ
1	愛知時計5	052-661-5151	音声	平日昼間	1

メン

設定を変更して通報先変更画面に戻ります。
 ※この時点では確定はされない。
 (スペース表示)

確 認

キャンセル

設定を変更せずに通報先変更画面に戻ります。

通報先を変更して「完了」を押すと、変更前と変更後の内容が表示されます。
 確認ボタンを押しして「6-3. 通報先変更」の画面から「確定」を押すと
 実際に設定内容が更新されます。

⚠ 注意

通報先の設定を変更した場合は、通報のテストを行って設定が正しいことを
 必ず確認してください。

6-4. アナログ上下限設定

現場名称		00. 00. 00(日) 00:00:00
		計測モード復帰まで 01:59:50

アナログ上下限設定

チャンネル3

名 称	12345678	スパン	12345678	m3/h**
上限値	12345678	m3/h**	下限値	12345678
ON時	通報する		ON時	通報する
OFF時	通報しない		OFF時	通報しない

チャンネル4

名 称	12345678	スパン	12345678	m3/h**
上限値	12345678	m3/h**	下限値	12345678
ON時	通報する		ON時	通報する
OFF時	通報しない		OFF時	通報しない

メニューへ

メンテナンスモード

確定

前

次

(メンテナンスモード)
 設定条件を更新しないでメンテナンスメニューに戻る。

アナログ入力の上下限警報値の設定ができます。

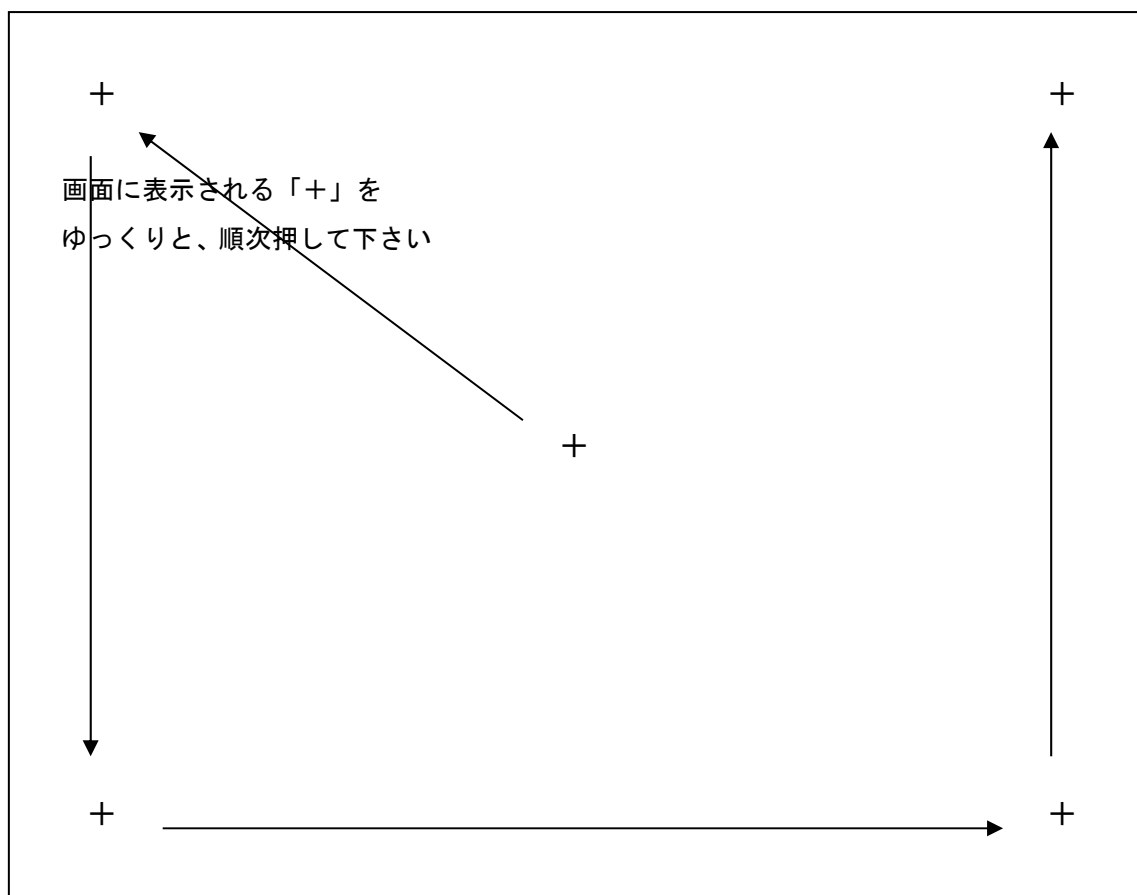
- 上限値** 上限警報が発生する値を設定します。
 スパンより大きな値を設定すると「上限警報なし」になります。
- 下限値** 下限警報が発生する値を設定します。
 スパンより小さな値を設定すると「下限警報なし」になります。
 アナログ入力に流量等の積算設定のものが設定されている場合
 下限値は設定できません。
- ON時** 上限／下限警報が発生した場合に通報するかを設定します。
- OFF時** 上限／下限警報が復帰した場合に通報するかを設定します。

6－5．時刻設定

現場名称		00. 00. 00(日) 00:00:00
		計測モード復帰まで 01:59:50
時刻調整		
現在日付	◀ 2000 ▶ 年	◀ 00 ▶ 月 ▶ 00 ▶ 日
現在時刻	◀ 12 ▶ 時	◀ 12 ▶ 分 ▶ 31 ▶ 秒
設定条件を更新しないでメンテナンスメニューに戻る。		設定条件を更新してメンテナンスメニューに戻る。
メニューへ	メンテナンスモード (ステータス表示)	時刻確定

本機の日付／時刻を設定します。

6-6. スタイル調整



タッチパネルの位置調整を行います。

当社出荷時に調整済みですが、タッチ位置が上手く合わない場合は、この調整を行って下さい。

- 1) 「+」マークが画面中央に表示されます。

先が尖っておらず、硬くないペン状のものを使用して、「+」マークの中心をタッチして下さい。

(PDA／ゲーム機用のタッチ用ペンを推奨します)

- 2) 「+」マークが移動しますので、順次タッチして下さい。

画面中央 → 左上 → 左下 → 右下 → 右上 の計5ヶ所に「+」マークが表示されます。

- 3) 「位置調整が完了しました」と表示されれば調整完了です。



注意

シャープペンシル、ボールペン等の先の尖った物ではタッチしないで下さい。
画面の傷、故障の原因となります。

6-7. USBメモリー転送

現場名称		00.00.00(日) 00:00:00
		計測モード復帰まで 01:59:50
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;"> <p>メモリ接続</p> </div> <div style="width: 65%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">一括転送 PM-e2→USB</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">設定転送 PM-e2→USB</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">履歴転送 PM-e2→USB</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">計測データ転送 PM-e2→USB</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">個別データ転送 PM-e2→USB</div> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">メニューへ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;"> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">メンテナンスメニューに戻る</div> <div style="text-align: center;">メンテナンスモード</div> </div> </div> </div>		

USBメモリーにPM本体内のデータを転送します。

この画面から、以下のデータが取得できます。

一括転送 PM-e2→USB	全てのデータを USB メモリーに転送します。
設定転送 PM-e2→USB	設定データを USB メモリーに転送します。
履歴転送 PM-e2→USB	履歴データを USB メモリーに転送します。
計測データ転送 PM-e2→USB	計測データを一括して USB メモリーに転送します。
個別データ転送 PM-e2→USB	計測データを個別に USB メモリーに転送します。

個別データ転送を選択する場合は 6-7-1 項 個別データ転送へ、
 一括転送・設定転送・履歴データ転送・計測データ転送の何れかを選択する場合は
 6-7-3 項 データ転送中表示へ進んでください。



注意

USBメモリーを本体裏のUSB端子に接続してください。

現場名称		05. 03. 05(日) 10:03:00
計測モード復帰まで		01:59:50

メモリ接続

USBメモリが接続されていません

USBメモリの接続を確認できれば
6-7-1 項へ、未接続の場合は USB メ
モリ転送画面に戻る

確 認

USB メモリ転送画面に戻る

キャンセル

メンテナンスモード

USBメモリの接続を検出できない場合、上記の画面が表示されます。
 USBメモリの接続確認を行い確認ボタンを押します。

6-7-1. 個別データ転送

現場名称		00.00.00(日) 00:00:00
計測モード復帰まで		01:59:50
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">メモリ接続</div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; width: 80%;">詳細データ(1分毎)転送</div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; width: 80%;">日報データ(1時間毎)転送</div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; width: 80%;">月報データ(1日毎)転送</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">メンテナンスメニューに戻る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">1つ前の画面に戻る</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;">メニューへ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%; text-align: center;">メンテナンスモード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%; text-align: center;">前</div> </div>		

個別データ転送PM-e 2→USBを選択すると上記の画面になります。

計測データを個別に取得することができます。

詳細データ（1分毎）転送	1分毎データのみを取得します。本体のデータ保存期間は過去2カ月です。
日報データ（1時間毎）転送	1時間毎データのみを取得します。本体のデータ保存期間は過去2カ月です。
月報データ（1日毎）転送	1日毎データのみを取得します。本体のデータ保存期間は過去1年分です。

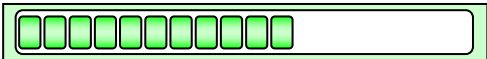
6-7-2. データ転送期間設定

現場名称		00. 00. 00(日) 00:00:00
		計測モード復帰まで 01:59:50
メモリ接続		
開始	◀ 2009 ▶ 年 ▶ 11 ▶ 月 ▶ 01 ▶ 日	
終了	◀ 2009 ▶ 年 ▶ 11 ▶ 月 ▶ 30 ▶ 日	
期間設定をした後転送開始ボタンを押します		
転送開始		
メンテナンスメニューに戻る		1つ前の画面に戻る
メニューへ	メンテナンスモード	前

詳細データ（1分毎）転送、日報データ（1時間毎）を選択すると上記の画面になります。月報データ（1日毎）転送を選択した場合は年と月のみの設定画面になります。

データ転送期間設定を行い、転送開始ボタンを押してください。

6-7-3. データ転送中表示

現場名称		05. 03. 05(日) 10:03:00
計測モード復帰まで		01:59:50
メモリ接続		
<div>データ転送中です 〇〇転送 PM-e2 → USB</div> <div></div>		
メンテナンスモード		

データ転送状態をステータスバーで表示します。

データ転送が完了すると 6-7 項 USB メモリ転送画面に戻ります。

メニューへボタンを押すと、USB 取外しメッセージ “USB メモリーを安全に取外すことができます” が表示されます。確認ボタンを押すとメンテナンスメニュー画面に戻ります。

USB メモリーを取外してください。

6－8．文字入力

現場名称 00. 00. 00(日) 00:00:00

計測モード復帰まで 01:59:50

入力内容が表示されます。

入力ボタン

かな カナ 英字 数字・記号

わ	ら	っ	ま	は	な	た	さ	か	あ
	り		み	ひ	に	ち	し	き	い
			む					く	う
			め					け	え
ん	ろ	よ	も	は	の	て	こ	お	

入力する文字種類を選択します。

入力情報に更新して前の画面に戻ります。

カーソル位置を移動します。

クリア

漢字

決定

キャンセル

入力文字表示バー内のカーソルより後ろの1文字を消去します。

入力したひらがなの音読みで始まる漢字の一覧を表示します。

入力を中止して前の画面に戻ります。

通報先設定などで、文字入力が必要な設定部分（通報先の名称、電話番号など）をタッチすると表示されます。

画面をタッチして文字を入力してください。

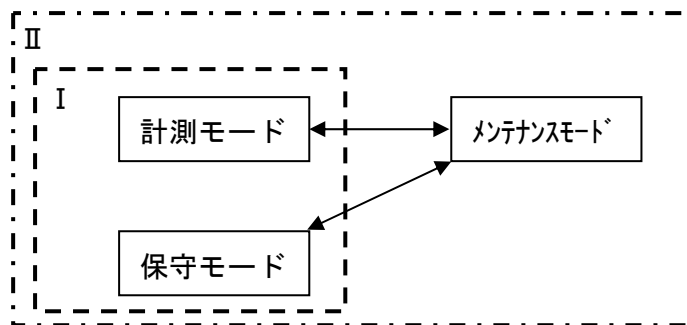
「決定」を押すと現在画面上部に表示されている内容が設定として入力されます。

7. 運転（モード切替）

PM-e 2には、各種モードがあります。

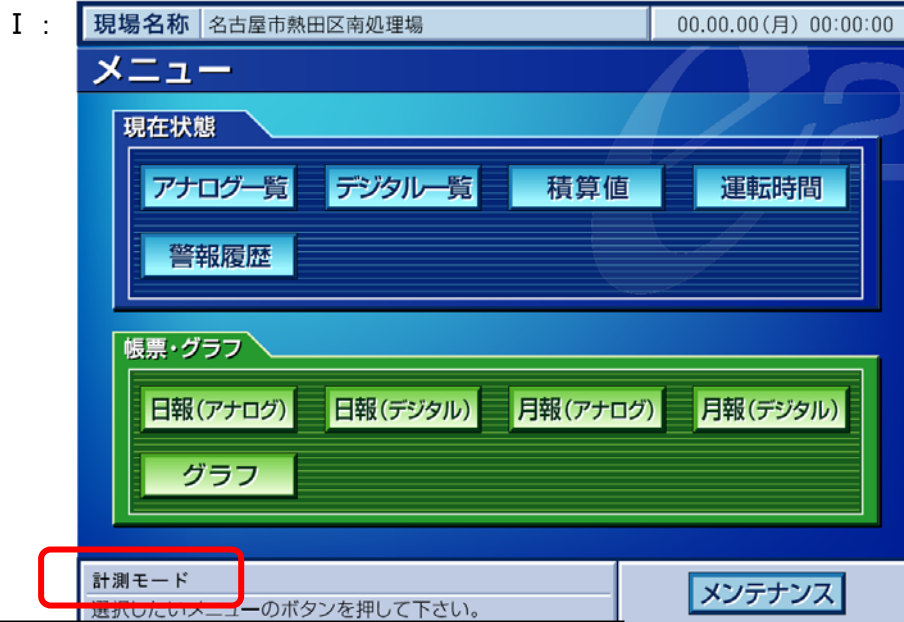
- ・計測モード：通常運転時のモードです。（本取説5. 参照）
- ・メンテナンスモード：お客様が変更できる設定内容が表示されます。（本取説6. 参照）
- ・保守モード：通報をリセットする。又、特殊条件下で動作させるモードです。
（主に初期設定・現場調整時に動作させる運転動作です）

画面の遷移関係は下図の通りです。



I：一覧・グラフ・帳票などの画面下部に表示されるモード

II：お客様が操作可能なモード全般



保守モード時は、ここが「保守モード」と表示されます。

ここでは、保守モードについて説明をします。

7-1. 特殊条件下で動作させる

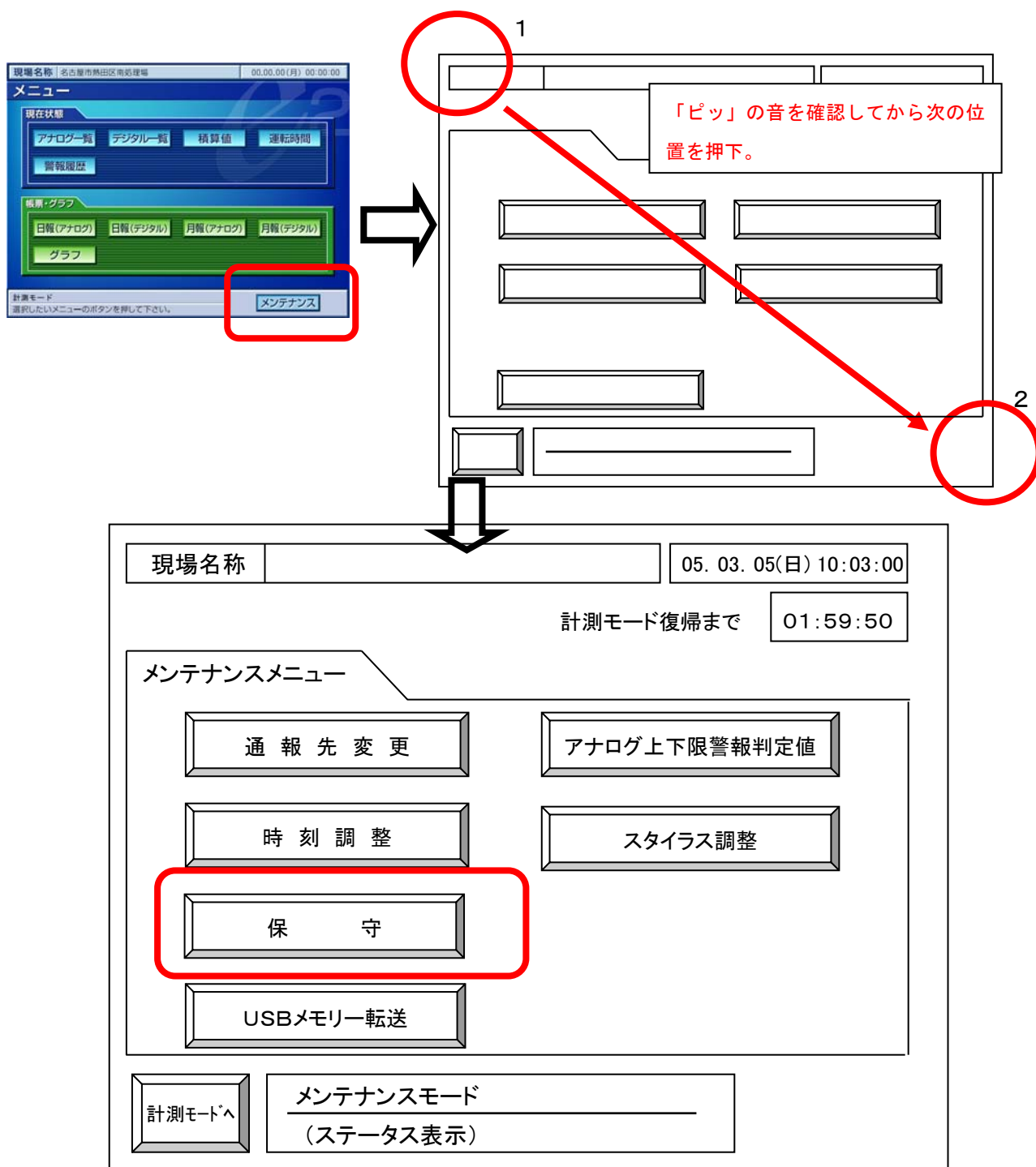
初期設定・現場調整時で、「警報の通報を行わない」「計測データの記録をしない」場合に、利用します。

1) 画面の表示

メニュー画面で「メンテナンス」ボタンを押し、メンテナンス画面で

画面の「左上」 → 「右下」

を順番に押します。(押下時は、「ピッ」の音が鳴ってから、次の位置を押して下さい)
正しく押下されていれば、メンテナンスメニューに「保守」ボタンが表示されます。



メンテナンスメニュー（保守ボタン表示）

保守モード中の動作をどうするか、選択するための画面です。

現場名称		05. 03. 05(日) 10:03:00	
		計測モード復帰まで	01:59:50
警報発生時の通報			
警報発生時、通報をする／しないを選択	有		無
通報宛先を 1～16 を使用／17～32 を使用を選択 (注意：17～32 は、お客様で電話番号の変更ができません)	通報先 NO.1～16		通報先 NO.17～32
計測データの取り扱い			
計測データを、記録する／しないを選択	記録する		記録しない
メンテナ	メンテナンスモード (ステータス表示)		確定
保守モードへの移行をキャンセルしてメンテナンスメニューへ戻る。		保守モード設定画面	

画面の3項目についてどちらかを選択した後、[確定]ボタンを押すことにより保守モードが開始となる。

2) 保守モードの解除方法

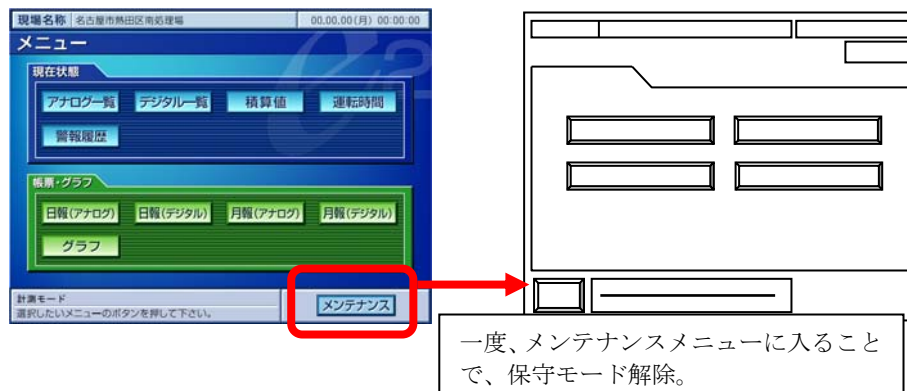
保守モードに移行した場合、初期設定・現場調整終了後は必ず保守モードの解除を行って下さい。

行わなかった場合、自動復帰するまで（2時間）

- ・ 警報が通報されない
- ・ 計測データが記録されない

等が発生する可能性がありますので、注意して下さい。

保守モードは、メニュー画面で「メンテナンス」ボタンを押し、一度メンテナンス画面に入ること解除されます。



7－2．通報リセットを行う

通報のリトライが残っているが、以降の通報をリセットさせたい場合は、一度保守モードにする事で、リセットを行います。

（保守モードへの移動は、7－1を参照。また、通報動作中があった場合は、リセットされませんので、リトライ待機中等が終わってから、再度行ってください）

8. 印字

8－1. 印字方向

印字方向として正立印字と倒立印字の2種類が設定可能です。

正立印字の場合は印字内容の上から順に打ち出されます。(標準)

倒立印字の場合は印字内容の下から順に打ち出されます。

記録紙をプリンターから取り出して見る場合は正立印字の方が見やすくなります。

8－2. 印字方法

印字方法は定期的に日報／月報を印字する「自動印字」の他に、必要に応じて印字する「手動印字」が可能です。

1) 自動印字

設定（出荷時の設定または設定画面からの設定）により、日変わり／月変わりの時点で日報／月報を自動印字できます。

2) 手動印字

印字ボタンを押すと、当日の日報を印字できます。

また日報／月報を画面上に表示している状態で印字ボタンを押すと、現在表示されている日付の日報／月報を印字できます。

8-3. 印字例

印字例を以下に示します。

・ 日報印字例

2007年01月19日(金) シェットウ用紙

<<タイトル>>

(ニューヨクマイヨウ)

A01:77071

A02:77072

P01:77071

TIME	A01 m	A02 m3	P01 m3
0	---	---	---
1	---	---	---
2	---	---	---
3	---	---	---
4	---	---	---
5	---	---	---
6	---	---	---
7	---	---	---
8	---	---	---
9	---	---	---
10	---	---	---
11	---	---	---
12	---	---	---
13	---	---	---
14	---	---	---
15	---	---	---
16	---	---	0
17	---	---	---
18	---	---	---
19	---	---	0
20	---	---	---
21	---	---	---
22	---	---	---
23	---	---	---
B006	---	---	0
B00X	---	---	0
B00N	---	---	0
B00I	---	---	0
B00Y	---	---	0
B00Z	---	---	0
B00A	---	---	0

<<タイトル>>

マイヨウ	ニチゴウイ/カズ	ソウイ/カズ
77071	0h 00m 00h	0h 00h

・ 月報印字例

2007年01月 シェットウ用紙

<<タイトル>>

(ニューヨクマイヨウ)

A01:77071

A02:77072

P01:77071

DATE	A01 m	A02 m3	P01 m3
1	---	---	---
2	---	---	---
3	---	---	---
4	---	---	---
5	---	---	---
6	---	---	---
7	---	---	---
8	---	---	---
9	---	---	---
10	---	---	---
11	---	---	---
12	---	---	---
13	---	---	---
14	---	---	---
15	---	---	---
16	---	---	---
17	---	---	---
18	---	---	---
19	---	---	0
20	---	---	---
21	---	---	---
22	---	---	---
23	---	---	---
24	---	---	---
25	---	---	---
26	---	---	---
27	---	---	---
28	---	---	---
29	---	---	---
30	---	---	---
31	---	---	---
B006	---	---	0
B00X	---	---	0
B00N	---	---	0
B00I	---	---	0
B00Y	---	---	0
B00Z	---	---	0
B00A	---	---	0

<<タイトル>>

マイヨウ	ニチゴウイ/カズ	ソウイ/カズ
77071	0h 00m 00h	0h 00h

9. FAX送信

FAX 帳票例を次のページ以降に記載します。なお、帳票内の数値の前に「*」などのマークが記載されている場合があります。この場合、設定値の変更などにより計測した内容が不正確になっている可能性があります。

その内容については以下に記します。

マーク	内容	原因となるもの
X	設定値変更あり	アナログ瞬時→積算／積算→瞬時変更。 アナログ／パルス積算の総計データクリア。
#	設定値変更あり	上記以外の設定値変更。
*	時刻調整・データ不揃い	時刻調整／停電等、一時的に計測できていない（欠測）部分がある。
H	アナログ上限警報発生	アナログの上限警報が発生した。
L	アナログ下限警報発生	アナログの下限警報が発生した。

※ マークを記載する内容が複数あった場合は上の項目を優先して表記します。

9-1. 日報 FAX 送信内容

下例のような FAX 内容が送信されます。

※設定された入力信号の点数により、出力される枚数は変化します。

帳票フォーマット<日報帳票①>

2005年03月29日 21時03分 PAGE:01/05

〇〇処理場

上下水道課

承認	照査	照査	担当

2005年03月29日(火) 天気() [日報 帳票]

日時	取水流量 [m3]	取水井水位 [m]	原水流量 [m3]	返送汚泥流量 [m3]	配水流量 [m3]	配水池水位 [m]	パルス1 [m3]
0	50.0	.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
1	16.0	.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
2	27.0	.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
3	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
4	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
5	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
6	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
7	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
8	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
9	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
10	42.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
11	63.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
12	42.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
13	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
14	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
15	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
16	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
17	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
18	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
19	*1234567.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
20	*1234567.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
21	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	108.52
22	0.0						
23	0.0						
日平均	-514.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.52
日最大	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	108.52
日最小	-12345.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00
日合計	—	—	—	—	—	—	—
月合計	—	—	—	—	—	—	—
総計	—	—	—	—	—	—	—

〇〇処理場

上下水道課

承認	照査	照査	担当

2005年03月29日(火) 天気() [日報 帳票]

運転時間

名 称	日合計	日回数	総 計	総回数	名 称	日合計	日回数	総 計	総回数
1 2 3 4 5 6 7 8	123 時間 45 分	12345678 回	12345 時間	12345678 回	1 2 3 4 5 6 7 8	123 時間 45 分	12345678 回	12345 時間	12345678 回
原水ポンプ2	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ4 6	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ3	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ4 7	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ4	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ4 8	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ5	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ4 9	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ6	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 0	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ7	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 1	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ8	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 2	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ9	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 3	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 0	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 4	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 1	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 5	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 2	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 6	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 3	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 7	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 4	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ5 8	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 5	0 時間 15 分	0 回	12345 時間	10 回	調整ポンプ5 9	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 6	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ6 0	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 7	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ6 1	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 8	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	調整ポンプ6 2	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ1 9	0 時間 00 分	0 回	0 時間	0 回	調整ポンプ6 3	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ2 0	0 時間 00 分	0 回	0 時間	0 回	調整ポンプ6 4	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ2 1	0 時間 00 分	0 回	0 時間	0 回					
原水ポンプ2 2	0 時間 00 分	0 回	0 時間	0 回					

イベント記録

発生時刻	通報動作	名 称	状 態	日回数	総回数	発生時刻	通報動作	名 称	状 態	日回数	総回数
23:30	通報中	1 2 3 4 5 6 7 8	1 2 3	12345678 回	12345678 回	10:03	---	1 2 3 4 5 6 7 8	1 2 3	12345678 回	12345678 回
22:17	なし	イベント入力2	故障	1 回	10 回	10:03	---	1 2 3 4 5 6 7 8	1 2 3	12345678 回	12345678 回
20:30	成功	イベント入力3	1 2 3	5 回	5 回						
19:14	成功	イベント入力4	故障	1 回	17810 回						
18:57	成功	イベント入力5	故障	1 回	10 回						
18:35	失敗	イベント入力6	故障	1 回	10 回						
12:11	なし	イベント入力7	故障	1 回	10 回						
11:09	なし	イベント入力8	故障	1 回	10 回						

〇〇処理場

上下水道課

承認	照査	照査	担当

2005年03月29日(火) 天気() [日報 帳票]

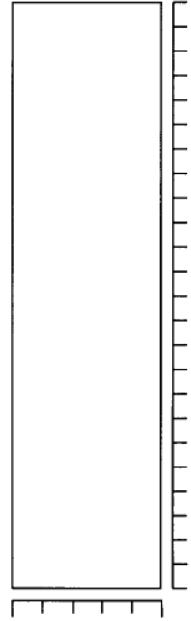
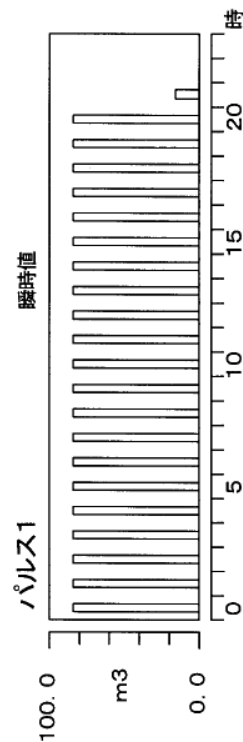
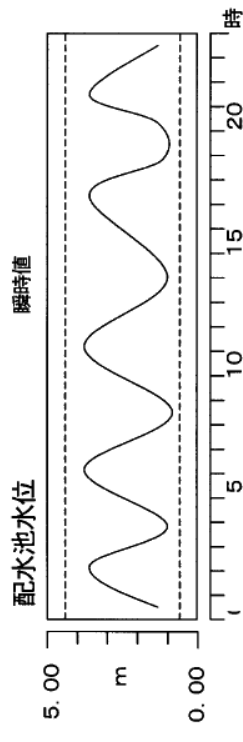
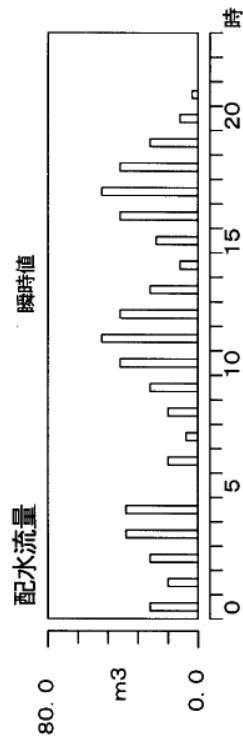
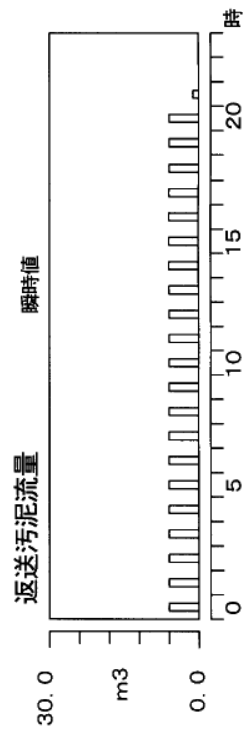
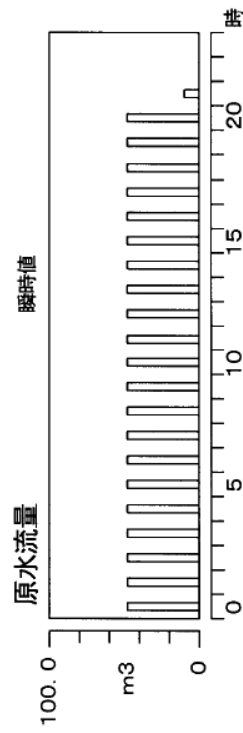
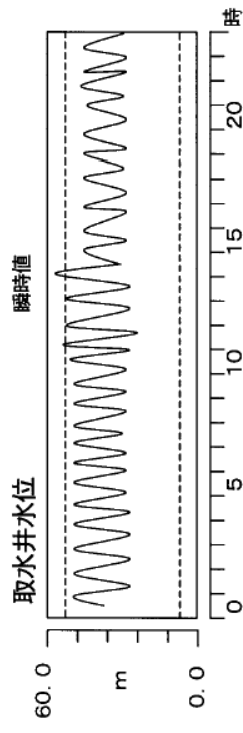
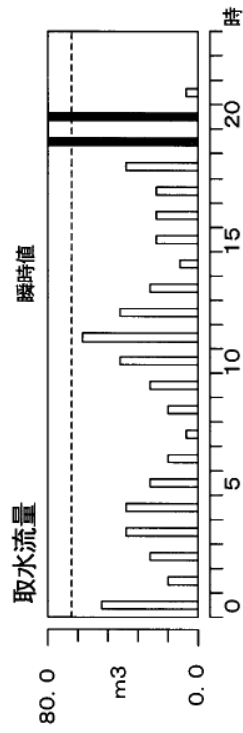
現在状況

名称	状態	名称	状態	名称	状態	名称	状態
1 2 3 4 5 6 7 8	123 時間 45 分	原水ポンプ14	停止	1 3 4 5 6 7 8	停止	イベント入力4	故障
原水ポンプ2	123 時間 45 分	原水ポンプ15	停止	原水ポンプ41	停止	イベント入力5	故障
原水ポンプ3	123 時間 45 分	原水ポンプ16	停止	原水ポンプ42	停止	イベント入力6	故障
原水ポンプ4	123 時間 45 分	原水ポンプ17	停止	原水ポンプ43	停止	イベント入力7	故障
原水ポンプ5	123 時間 45 分	原水ポンプ18	停止	原水ポンプ44	停止	イベント入力8	故障
原水ポンプ6	123 時間 45 分	原水ポンプ19	停止	原水ポンプ45	停止	イベント入力9	故障
原水ポンプ7	123 時間 45 分	原水ポンプ20	停止	原水ポンプ46	停止	イベント入力10	故障
原水ポンプ8	123 時間 45 分	原水ポンプ21	停止	原水ポンプ47	停止	イベント入力11	故障
原水ポンプ9	停止	原水ポンプ22	停止	原水ポンプ48	停止	イベント入力12	故障
原水ポンプ10	停止	原水ポンプ23	停止	原水ポンプ49	停止	イベント入力13	故障
原水ポンプ11	停止	原水ポンプ24	停止	イベント入力1	故障	イベント入力14	故障
原水ポンプ12	停止	原水ポンプ25	停止	イベント入力2	故障	イベント入力15	故障
原水ポンプ13	停止	1 2 3 4 5 6 7 8	停止	イベント入力3	故障		

〇〇処理場

上下水道課

2005年03月29日(火) 天気() [日報 グラフ]

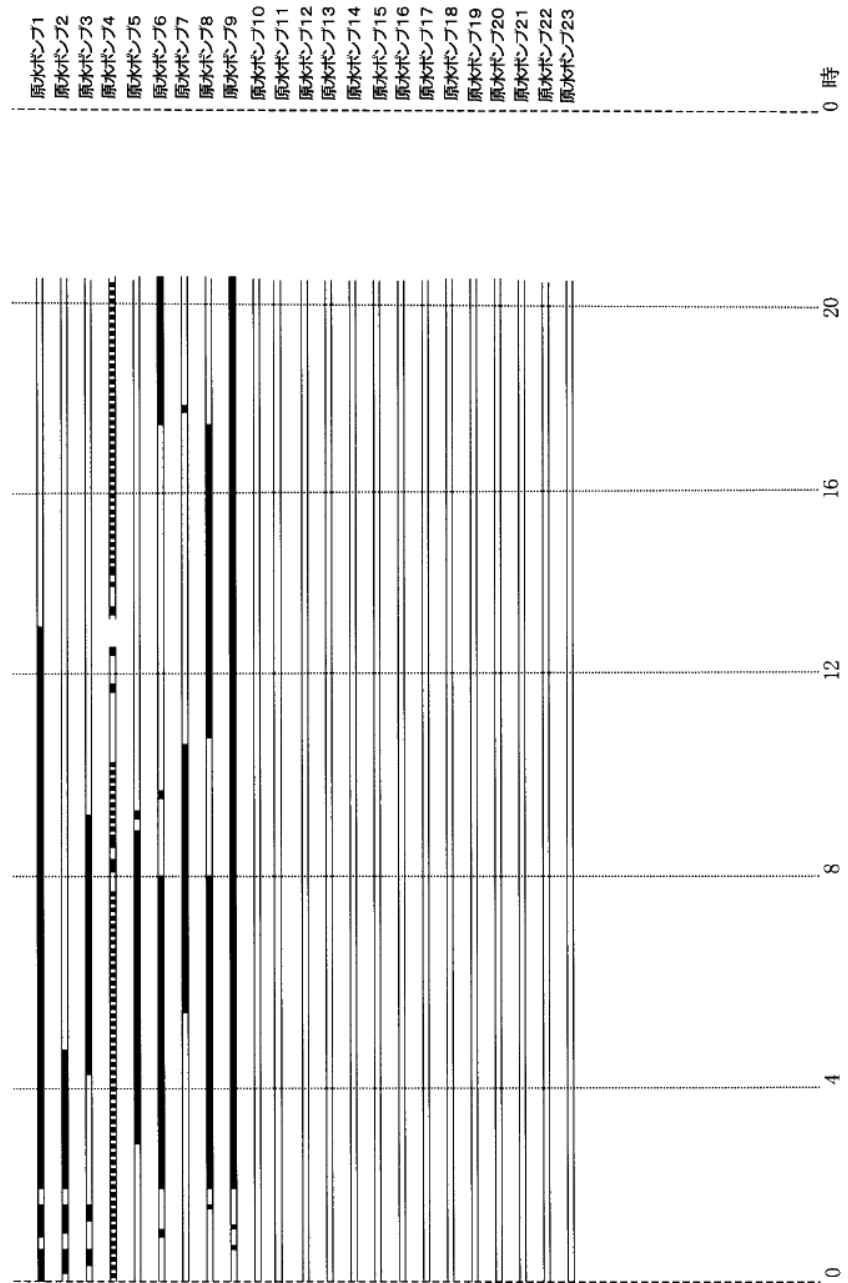


〇〇処理場

上下水道課

2005年03月29日(火) 天気() [日報 グラフ]

運転時間トレンド



9-2. 月報 FAX 送信内容

下例のような FAX 内容が送信されます。

※設定された入力信号の点数により、出力される枚数は変化します。

帳票フォーマット<月報帳票①>

〇〇処理場

2005年03月29日 21時03分 PAGE:01/03

上下水道課

承認	照査	照査	担当

[月報 帳票]

2005年03月

日	曜日	原水流量1 [m3]	流量槽水位 [m]	検2室ORP [mV]	放流量 [m3]	雨量 [mm]	積算電力量 [kWh]	原水流量2 [m3]	原水流量3 [m3]
1	火	*-1234567.8	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
2	水	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
3	木	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
4	金	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
5	土	3.5	4.30	280	5227.0	0.0	0.0	0.0	0
6	日	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
7	月	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
8	火	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
9	水	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
10	木	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
11	金	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
12	土	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
13	日	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
14	月	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
15	火	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
16	水	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
17	木	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
18	金	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
19	土	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
20	日	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
21	月	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
22	火	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
23	水	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
24	木	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
25	金	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
26	土	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
27	日	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
28	月	3.5	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
29	火	3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0
30	水								
31	木								
月平均		-39821.4	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0.0
月最大		3.5	4.30	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0.0
月最小		-1234567.8	4.29	280	27.0	0.0	0.0	0.0	0.0
月合計		-1234462.8			30393.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計		0							

上下水道課

〇〇処理場

2005年03月

[月報 帳票]

承認	照査	照査	担当

運転時間

名称	月合計	月回数	総計	総回数	名称	月合計	月回数	総計	総回数	名称	月合計	月回数	総計	総回数
1 2 3 4 5 6 7 8	123 時間 45 分	12345678 回	12345 時間	12345678 回	1 2 3 4 5 6 7 8	123 時間 45 分	12345678 回	12345 時間	12345678 回	調整ポンプ2 7	10 時間 03 分	10 回	12345678 回	12345678 回
原水ポンプ2	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO1 3	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回	調整ポンプ2 8	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ3	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO1 4	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回	調整ポンプ2 9	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ4	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO1 5	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回	調整ポンプ3 0	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ5	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO1 6	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回	調整ポンプ3 1	10 時間 03 分	10 回	10 時間	10 回
原水ポンプ6	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO1 7	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ7	0 時間 00 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO1 8	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ8	0 時間 00 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO1 9	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ9	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO2 0	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ1 0	0 時間 15 分	0 回	10 時間	10 回	プロアNO2 1	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ1 1	0 時間 15 分	0 回	10 時間	12345678 回	プロアNO2 2	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ1 2	0 時間 15 分	0 回	10 時間	12345678 回	プロアNO2 3	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ1 3	0 時間 15 分	0 回	10 時間	12345678 回	プロアNO2 4	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ1 4	0 時間 15 分	0 回	10 時間	12345678 回	プロアNO2 5	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					
原水ポンプ1 5	0 時間 15 分	0 回	10 時間	12345678 回	プロアNO2 6	0 時間 15 分	10 回	10 時間	10 回					

イベント回数

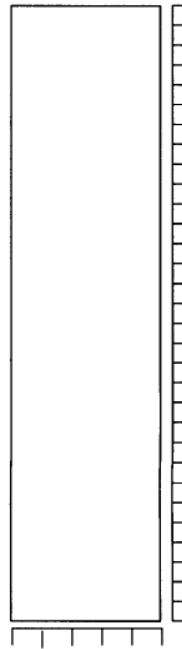
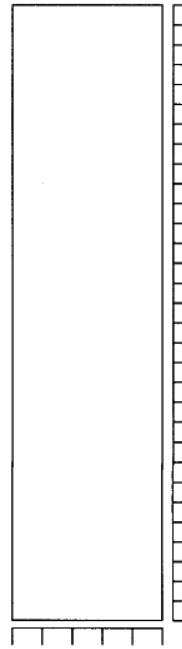
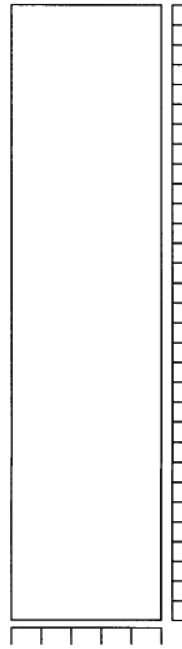
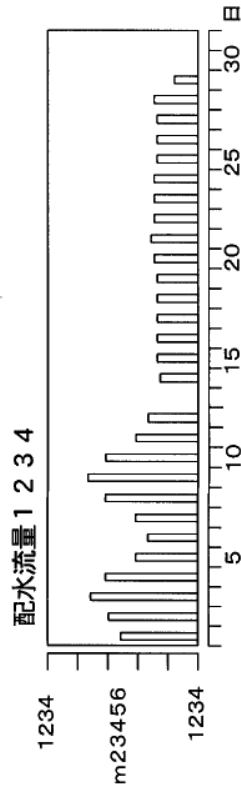
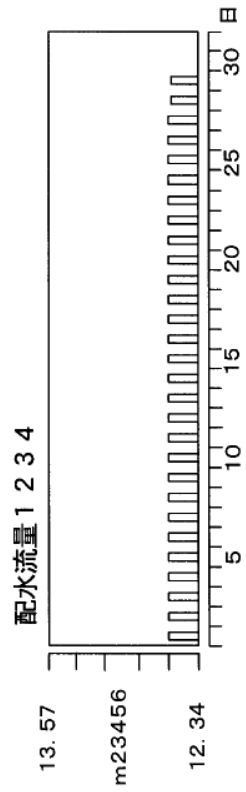
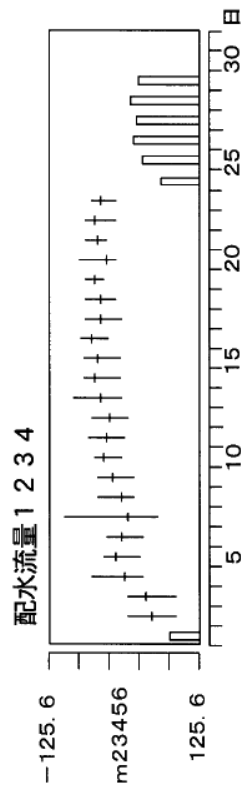
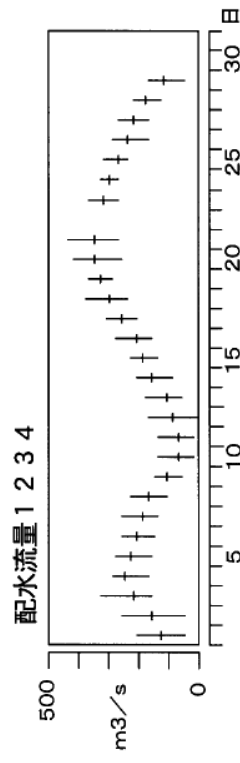
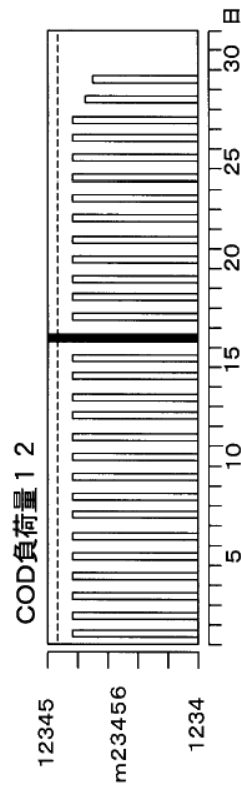
名称	月回数	総回数	名称	月回数	総回数	名称	月回数	総回数	名称	月回数	総回数
1 2 3 4 5 6 7 8	12345678 回	12345678 回	1 2 3 4 5 6 7 8	12345678 回	12345678 回	1 2 3 4 5 6 7 8	12345678 回	12345678 回	1 2 3 4 5 6 7 8	12345678 回	12345678 回
イベント2											
イベント3											
イベント4											
イベント5											
イベント6											
イベント7											
イベント8											
イベント9											
イベント10											
イベント11											
イベント12											
イベント13											
イベント14											
イベント15											

〇〇処理場

上下水道課

2005年03月

[月報 グラフ]



9-3. 警報 FAX 送信内容

下例のような FAX 内容が送信されます。(設定により 2 種類の帳票パターンがあります)

帳票フォーマット<メッセージ1>

2005年04月14日 10時03分 PAGE:01/01

<<警報>>

〇〇処理場

★★★ 放流流量 上限警報 発生 ★★★	2005年03月30日(水) 19:34
★★★ 放流流量 上限警報 復帰 ★★★	2005年03月29日(火) 15:00
★★★ 配水池水位 下限警報 発生 ★★★	2005年03月29日(火) 13:30
★★★ 取水井ポンプ 故障 復帰 ★★★	2005年03月29日(火) 02:00
★★★ 放流ポンプ 不具合 復帰 ★★★	2005年03月29日(火) 01:18
★★★ 取水井ポンプ 故障 発生 ★★★	2005年03月28日(月) 22:45
★★★ 停電 発生 ★★★	2005年03月28日(月) 19:15
★★★ 停電 復帰 ★★★	2005年03月28日(月) 11:30
★★★ チャート切れ 発生 ★★★	2005年03月28日(月) 05:02
★★★ チャート切れ 復帰 ★★★	2005年03月27日(日) 23:34

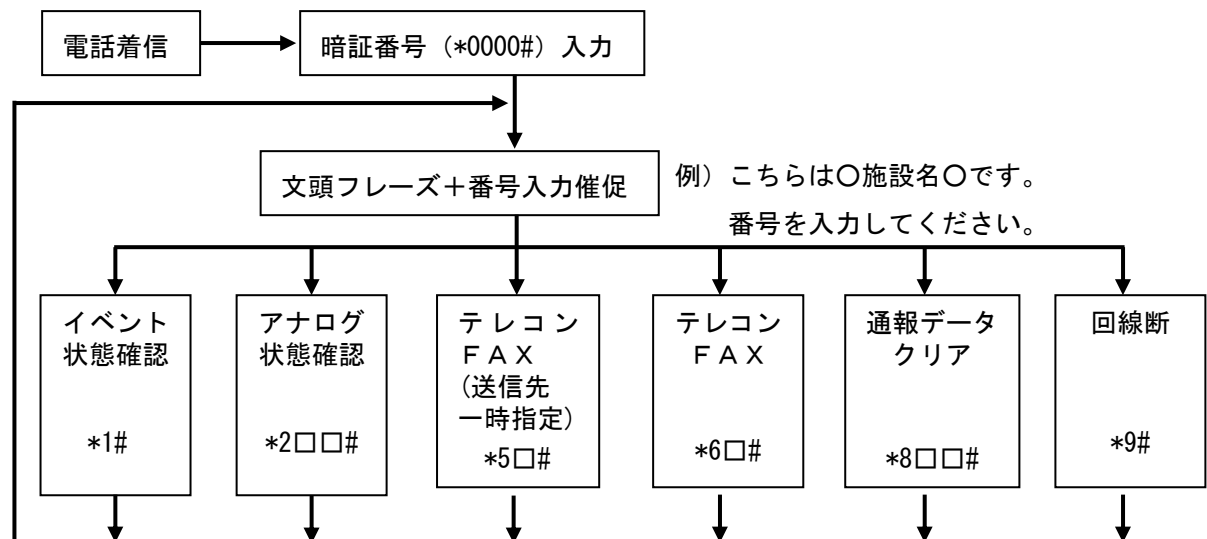
9－4．手動 FAX

本体下部の FAX ボタンを押すと、当日の日報を FAX へ送信します。
また、日報／月報を画面上に表示している状態で FAX ボタンを押すと、
現在表示されている日付の日報／月報を FAX へ送信します。

10. テレコン操作

外部から本機に電話をかけることで、現在の施設の状態を音声アナウンスで確認したり、日報／月報をFAXで取り出すことが可能です。

テレコン操作の流れ



【機能一覧】

1) 音声による現在状態の確認

機能番号	用途・操作		音声アナウンス詳細
* 1 #	イベント状態	ON状態	「△△△が発生しました。確認してください。ピー」
		OFF状態	「異常ありません。ピー」
* 2 □ □ #	アナログ瞬時値状態 (□□ : 01 ~ 16 : Aタイプ)		「チャンネル□□、現在の(アナログ入力名)、 ○○○(単位)です。ピー」

2) FAX送信指令(送信先一時指定)

機能番号	用途・操作		音声アナウンス詳細
* 5 1 #	前月分の月報送信 送信先を「000-000-0000#」入力 (#で入力完了とする)		「FAX番号を入力し、入力後シャープを押してください」 「000-000-0000にFAXを送信します。」 実行する場合は1、中止する場合は2を押してください」
		“1”入力	「FAXを送信します。電話を切ってお待ちください。ピー」
		“2”入力	「FAXを中止します。ピー」
		その他	「ピッピッピ」音を再生し、上記音声を繰り返し再生する。
* 5 2 #	当月分の月報送信		上記項目に順ずる。
* 5 3 □ □ #	前月□□日分の日報送信 (□□ : 01 ~ 31の数字)		上記項目に順ずる。
* 5 4 □ □ #	当月□□日分の日報送信 (□□ : 01 ~ 31の数字)		上記項目に順ずる。
* 5 5 #	現在状態を送信		上記項目に順ずる。
* 5 6 #	動作履歴を送信		上記項目に順ずる。

※現在状態の送信は、操作当日00:00～現在時刻までの帳票を出力します。

3) F A X送信指令

機能番号	用途・操作	音声アナウンス詳細
* 6 1 #	前月分の月報送信	「F A Xを送信します。 実行する場合は1、中止する場合は2を押してください」
	“1”入力	「F A Xを送信します。電話を切ってお待ちください。ピー」
	“2”入力	「F A Xを中止します。ピー」
	その他	「ピッピッピ」音を再生し、上記音声を繰り返し再生する。
* 6 2 #	当月分の月報送信	上記項目に順ずる。
* 6 3 □ □ #	前月□□日分の日報送信 (□□ : 0 1 ~ 3 1の数字)	上記項目に順ずる。
* 6 4 □ □ #	当月□□日分の日報送信 (□□ : 0 1 ~ 3 1の数字)	上記項目に順ずる。
* 6 5 #	現在状態を送信	上記項目に順ずる。
* 6 6 #	動作履歴を送信	上記項目に順ずる。

※現在状態の送信は、操作当日00 : 00～現在時刻までの帳票を出力します。

4) 通報データのクリア

機能番号	用途・操作	音声アナウンス詳細
* 8 □ □ #	宛先□□の通報を完了とみなす (□□ : 0 1 ~ 1 6の数字)	「通報先N o. □□の未通報データをクリアします。 実行する場合は1、中止する場合は2を押してください」
	“1”入力	「通報先N o. □□の未通報データをクリアしました。ピー」
	“2”入力	「未通報データのクリアを中止します。ピー」
	その他	「ピッピッピ」音を再生し、上記音声を繰り返し再生する。

5) 電話回線断

機能番号	用途
* 9 #	テレコンによる回線接続をPM-e 2から電話を切って終了します。



注意

「通報データのクリア」は、クリアする通報先N o. を間違わないように十分な事前確認のもとで行ってください。重要な通報が失われる恐れがあります。

1 1. 保守

1 1－1. 設定

本書に記載していない設定内容の変更については別冊の設定マニュアルを御覧いただくか、当社サービスへお問い合わせ下さい。

1 1－2. インクカセットの交換

印字内容が薄くなった場合は、インクカセットを交換して下さい。交換方法は、「4－2 固定テープ除去／インクカセットの取り付け」を参照ください。

1 1－3. バックアップ電池の交換

停電時の通報動作として内部にバックアップ電池を搭載しています。電池は年月の経過と共に劣化しますので、確実に動作させるために定期的な交換が必要です。

2年に1回を目安に交換をお願いします。

また長期間の停電等により電池が過放電すると、再度充電をしても十分充電出来なくなる場合があります。この場合は規定年数より使用期間が短くても交換をお願いします。

●交換手順

- 1) 本体電源がONであることを確認します。
- 2) 背面の電池カバーを外します。(上部のロック部分を引けば外れます)
- 3) バックアップ電池のコネクタを外し、交換します。
- 4) 電池カバーを再び取り付けます。(上部ロック部分を押せば固定されます)

※ バックアップ電池は2次電池（充電式電池）です。

電池の残容量が10%程度の場合、完全に充電されるまでに約70分かかります。完全に充電されるまでに停電が発生すると、規定の回数の通報が出来ない場合がありますのでご注意ください。

※ 交換後の電池は、本機を使用されている場所を管轄する地方自治体の廃棄処分方法に従って処分をお願いします。

1 1－4．消耗品について

本機の消耗品を以下に記載します。

品目コード	品名	発注単位
7 8 0 9－8 5 0	インクカセット	1 個
7 8 0 9－8 4 8	バックアップ電池	1 個
7 3 2 2－0 0 4	記録紙	5 冊／箱

上記以外の部品については現場にて交換出来ない場合もございますので、当社支店／営業所にお問い合わせ下さい。

1 2. 仕様

1 2－1. 型式

インテリジェントプリンター「PM-e 2」は、ソフトの仕様・入力点数により下記タイプに分かれています。

PM-e 2 -	*	*	選択内容
電源／仕様	A	*	AC100V（標準仕様）
	T	*	AC100V（全リン全窒素負荷量演算仕様）
入力点数	A		アナログ入力（Ai）：16点 パルス入力（Pi）：4点 デジタル入力（Di）：64点
	B		アナログ入力（Ai）：8点 パルス入力（Pi）：2点 デジタル入力（Di）：32点

1 2－2. 仕様

1) アナログ入力

入 力 点 数：Aタイプ16点、Bタイプ8点（各c h毎に絶縁）

電 流 範 囲：DC4～20mA（入力抵抗：250Ω）

表 示 精 度：±0.2%FS以内（リニアの場合）

演 算 処 理：各c h毎にベンチュリ・開水路（堰、パーシャルフリューム、パーマボラスフリューム）の流量演算が可能。

瞬時・積算処理：各c h毎に瞬時／積算処理の設定が可能

上 下 限 警 報：各c h毎に上下限警報を設定可能（積算処理時は上限警報のみ）

センサー 電 源：各c h毎にDC30V（Max30mA）の2線式計測器用の電源供給が可能

2) パルス入力

入 力 点 数：Aタイプ4点、Bタイプ2点

入 力 条 件：無電圧a接点またはオープンコレクタ信号

必要 接点 容量：電圧DC12V／電流DC8mA以上

入 力 周 波 数：Max20Hz

3) デジタル入力

入 力 点 数 : Aタイプ64点、Bタイプ32点

入 力 条 件 : 無電圧a接点またはオープンコレクタ信号

必要 接点 容量 : 電圧DC12V／電流DC8mA以上

入 力 判 定 : イベント入力 (ON時間1～600秒可変)

運転時間入力 (ON時間1～255秒可変)

※入力判定は、イベント・運転時間それぞれ一括設定

4) 表示

表 示 方 式 : TFT8.4インチカラー液晶ディスプレイ

表 示 内 容

アナログ : 瞬時値、積算値、帳票、グラフ

パルス : 積算値、帳票、グラフ

運転時間 : 現在状態、運転時間、運転回数、帳票、グラフ

イベント : 現在状態、帳票

警報表示 : イベント、紙切れ、停電など

LED (電源 : 緑色、警報 : 赤色)

電 源 : ON時点灯、停電時緑色点滅、OFF時消灯

警 報 : 警報発生時点灯、紙切れ時点滅、正常時消灯

5) プリンター仕様

印 字 方 式 : インパクトドットマトリクス

印 字 桁 数 : 40文字／行

記 録 紙 : 折り畳み紙 (幅58mm×長さ60m)

インクリボン : カセット方式

6) 印字機能

印 字 の 有 無 : 「印字する」または「印字しない」

印 字 モ ー ド : 「日報印字」または「日報＋イベント印字」

日 報 印 字 : 毎日「00時」に印字

月 報 印 字 : 月を跨いだ時に日報印字後、印字

手 動 印 字 : 「印字の有無」に関わらず、その時刻までの日報を印字

7) 通信 (LINE 端子)

適用回線：アナログ電話回線

ダイヤル種別：DP(10/20pps)、PB

ダイヤル桁数：20桁以内

コネクタ形状：RJ-11

伝送先数：最大16ヶ所(テスト通報モードで別途16ヶ所記憶可能)

伝送先種別：電話、FAX、モデム(当社監視装置)、電子メール

【FAX機能】

FAX通信制御手順：G3準拠

通信規格：ITU-T V.21(ch2)/V.27ter/V.29/V.17準拠

通信速度：14400～2400bps

送信原稿サイズ：A4相当

【モデム機能】

通信規格：ITU-T V.22/V.22bis/V.32/V.32bis/V.34/V.90/V.92準拠

通信速度：＜受信＞56,000～1,200bps

＜送信＞33,600～1,200bps

エラー訂正/圧縮：ITU-T V.42/V.42bis、MNP4/MNP5

8) 通信 (LAN 端子)

適用回線：100BASE-TX/10BASE-T

コネクタ形状：RJ-45

伝送先数：最大16ヶ所(電話/FAX等で指定した宛先も含む)

伝送先種別：FAX、当社監視装置、電子メール

9) 伝送内容、伝送方法

電話：イベント発生/復帰、停電/復電、アナログ上下限警報、
チャート紙切れを音声データ再生により伝送

FAX：イベント発生/復帰、停電/復電、アナログ上下限警報、
チャート紙切れ、日報、月報

モデム(当社監視装置)：イベント発生/復帰、停電/復電、アナログ上下限警報、
チャート紙切れを日報データ(センターからのポーリング)により伝送

電子メール：イベント発生/復帰、停電/復電、アナログ上下限警報、
チャート紙切れをメールにより伝送。

日報・月報は帳票が画像データとして添付させることが可能

10) 記録管理

イベント：年月日時分と共にイベント状態、通報状況を保存
全動作を2000件保存(本体で表示可能なのは警報履歴100件)

計測データ：日報データを当月+前月の最大2ヶ月分

停電補償：バックアップ電池にて5セット(TEL3回、FAX1回を1セット)
以上通報可能(バックアップ電池が満充電時)

1 1) その他仕様

使 用 環 境 : $0 \sim 50^{\circ}\text{C}$ 、 $30 \sim 85\% \text{RH}$ (結露しないこと)

電 源 : $\text{AC } 100\text{V} \pm 10\%$ 、 $50/60\text{Hz}$

消 費 電 力 : 92VA 以下 (ピーク時)

外 形 寸 法 : $346(\text{W}) \times 200(\text{H}) \times 295(\text{D})\text{mm}$

質 量 : 約 11kg

塗 装 色 : 黒

取 り 付 け 方 法 : パネルマウントまたは机上設置

13. 保証とアフターサービス

●保証期間

ご購入から1年間とさせていただきます。

●保証範囲

本製品は万全の品質保証体制で製造しておりますが、正常な使用状態において保証期間内に当社製造責任による故障が生じた場合、修理または代替品の納入を無償で行わせていただきます。ただし、故障した製品についての無償対応の適否は、当社の調査結果によるものとします。

また、以下の項目に該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- (1) カタログ、製品仕様書、取扱説明書などの記載事項に従わないで使用した場合の故障
- (2) 火災・地震・風水害・落雷などの災害及び犯罪などの破壊行為に起因する故障
- (3) 腐食環境下での使用による製品腐食に起因する故障
- (4) 昆虫等の生物の行為に起因する故障
- (5) 故障の原因が当製品以外に起因する故障
- (6) 出荷当時の科学・技術水準で予見不可能であった故障
- (7) 当社または当社が指定した者以外による修理や改造による故障
- (8) 不適当な点検や消耗部品の保守・交換に起因する故障

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼により有償修理いたします。

●修理・調査を依頼される場合

保証期間中・期間後に関わらず、修理・調査を依頼される際には、製品名及び型式名（インテリジェントプリンター PM-e2）と、詳しい状況を最寄りの当社支店・営業所にお知らせ下さい。

【注意】

- 本マニュアルの内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ下さい。
- お取り扱いを間違えた場合の責任は負いかねますので、ご使用前には必ず本取扱説明書をお読み下さい。
- 運用した結果につきましては、上記に関わらず一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 会社名及び製品名は、商号もしくは登録商標です。
- 本マニュアルを無断転載することを固くお断わりします。
- 本マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。
- 仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

保 証 書

この計器は当社の厳密な機械的・電氣的な検査に合格し、機能を十分満足していることを保証します。

- 計器の保証期間はご購入より1年間です。保証期間後の修理・調整・部品交換は有償となります。
- 保証期間内であっても消耗品の交換、及びお客様の誤操作、過失ならびに天災などによる故障は有償修理となります。

製品名：インテリジェントプリンター PM-e2

ご購入日： 年 月 日



愛知時計電機株式会社

〒456-8691 名古屋市熱田区千年一丁目2番70号

URL : <https://www.aichitokei.co.jp/>

お願い

性能改善のため予告なく製品仕様を変更することがあります
のでご了承ください。なお古くなったカタログ・資料などは
新版をご請求いただくか、当社までお問い合わせください。

第7版

202312